

2 0 2 6 年度

学 生 便 覧

大阪大学大学院

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学

連合小児発達学研究科

博士前期課程

目 次

大阪大学の大学院教育システムについて	2
1. 年間行事予定表	4
2. 研究倫理教育／研究指導計画書・研究指導報告書の提出について	5
3. 授業科目表、時間割表	
基礎導入科目	8
基礎演習科目	10
基礎特論科目	11
授業科目一覧	12
4. 履修方法等について	13
連合小児発達学研究科における授業及び試験の欠席に関する取扱いについて	
気象警報発令時の授業の取扱いについて	
研究発表会(公聴会)および学内外研究セミナーへの出席必須化について	
5. 学生留意事項	
1. 授業料の納入について	20
2. 授業料の免除等制度について	
3. 奨学金について	
4. 「学生教育研究災害傷害保険」等の各種保険について	22
5. 定期健康診断等について	24
6. 附属図書館の利用について	
7. 学生証について	25
8. 学籍等の変更について(休学・復学・退学・留学、海外渡航)	
9. 指導教員変更願について	26
10. 各種証明書の発行について	
11. 身上変更届について	
12. 学生メールアドレスの付与と掲示・連絡について	
13. 学生相談体制について	
14. 成績評価に対する異議(疑義)申し立てについて	27
各種様式	28
6. 各種教育プログラムについて	36
7. 各種メーリングリスト等一覧	38
各校事務連絡先	39
8. 教員名簿	40

※ 大阪大学大学院学則、大阪大学学位規程、大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科規程等については、本研究科ホームページを参照してください。

<https://www.ugscd.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学の大学院教育システム

学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム Double-Wing Academic Architecture

大学院教育システム構築の背景と目的

現代社会には、SDGs に代表される様々な課題が数多く存在します。こうした複雑な社会課題を解決するには、それぞれのコアとなる専門的知見に加えて、広い視野から課題を多角的に捉え、多様なステークホルダーと柔軟に協働する力が求められます。

このような社会背景を踏まえて、大阪大学では、大学院での学びを皆さん自身がデザインすることができる新しい大学院教育システム「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム” Double-Wing Academic Architecture”（以下「DWAA」という。）」を推進しています。

DWAA の考え方

DWAA は、研究科・専攻等における専門分野の教育（「知の探究」型教育）に加え、専門分野のコアの修得を前提として、新たに「知と知の融合」「社会と知の統合」の二つの方向に教育を広げていく点が特徴です。

知の探究

これまでの学術編成を尊重し**専門分野を深め**、専門家を育成する教育

従来の学術編成に基づいた研究科の専門分野における深い知識や高い技術を保持する人材を育成する教育です。

知と知の融合

いくつかの**異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修する教育**

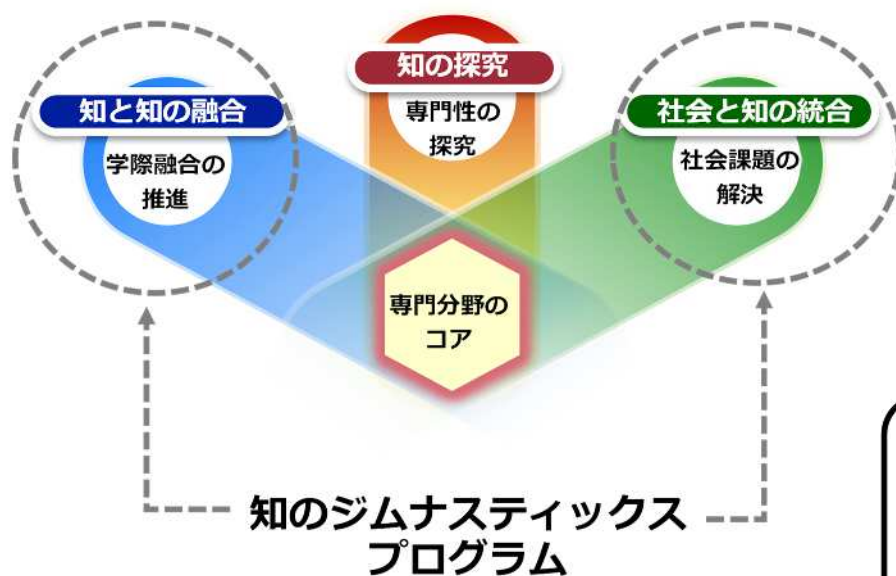
異なる分野にも視野を向け知的地平を広げられる教育を指します。
新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動を促進します。

社会と知の統合

社会課題に対する解決に向けての実践的な取り組みを通じて学修する教育

社会の様々なステークホルダーとともに解決すべき課題を発見して解決方法を創造し、さらに社会に実装することができる能力を育成します。授業の中で、社会課題の解決に実践的に取り組む機会を提供し、異なる背景を持った人々と意思疎通を図る能力や社会を変えようとする過程で直面する困難を乗り越える力量を身につけます。授業によっては、学外（社会、企業等）との接点を持った取り組み等も含まれます。

学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture)



詳細はこちら



知のジムナスティックスプログラムとは

この DWAA の考え方に基づき、「知と知の融合」「社会と知の統合」の二つの学際領域に分類される高度教養教育の教育プログラムを総称して「知のジムナスティックスプログラム」と呼び、専門分野の深化を目指す従来の大学院教育と併せて履修を推進しています。

大阪大学で展開している教育プログラムは以下のとおりです。

教育プログラムの詳細はこちら→



1. 年間行事予定表（2026年度）

セメスター	学期	月	日付	行事等
前期	春学期 4/1-6/14	4月	4/1-4/7 4月1日 4月2日 4月3日 4月8日	春季休業 入学ガイダンス 入学式 (新入生)春夏学期 履修登録締切（12時） 春夏学期 授業開始 学生定期健康診断受診
		5月	5月1日 5月27日	大阪大学記念日 前期授業料 口座振替
	夏学期 6/15-9/30	6月		春学期 授業アンケート提出
		7月 8月 8月末 9月	 8/11-9/30	春学期 成績発表 夏学期 授業アンケート提出 夏季休業 2026年度秋冬学期 学籍異動申請期限 秋冬学期 履修登録期間 夏学期 成績発表
後期	秋学期 10/1-12/3	10月	10月1日	秋冬学期 授業開始
		11月	 11月27日	秋学期 授業アンケート提出 後期授業料 口座振替
	冬学期 12/4-3/31	12月		秋学期 成績発表
		1月 2月 2月末 3月	12/26-1/3 2月10日 2月25日 3月下旬	冬季休業 研究発表会（公聴会） 秋学期 授業アンケート提出 冬学期 成績発表 研究発表会（公聴会）予備日 2027年度春夏学期 学籍異動申請期限 2027年度春夏学期 履修登録 修了式・学位記授与式

2. 研究倫理教育／研究指導計画書・研究指導報告書の提出について

【研究倫理教育について】

本学では、公正な研究活動の推進のため、研究倫理教育を受講する必要があります。

必要な倫理を身につけずに研究を開始することはできないという観点から、本研究科では、「APRIN」が提供しているeラーニングを活用したプログラムの受講を必須としております。

なお、受講時期については指導教員と相談のうえ、入学後、早めの時期に受講するようにしてください。

【研究指導計画書及び研究指導報告書の提出について】

本学では、研究指導の方法及び内容並びに1年間の研究指導の計画を明示するため、学生ごとに研究指導計画書を作成することとしております。毎年、4月中を目途に、その年度の研究計画について、指導教員と十分に打合せのうえ研究指導計画書に記入し、写しを指導教員および所属校の事務に提出してください。

※多様な研究分野の教員から幅広く研究指導を受けられるよう、学生の希望により副指導教員を置くことができますので、希望する場合は、指導教員に相談してください。

なお、年度の途中で研究計画に大幅な変更があった場合は、指導教員と相談のうえ、特記事項にその概要を追記してください。

また、1年間の研究指導終了後、研究の進捗についての評価を研究指導報告書に記入のうえ、本紙を指導教員に提出してください。

【 年 月 日作成】
【 / / DATE】
(yyyy/mm/dd)

学籍番号 Student No.		学生氏名 Student Name			
研究領域名 Division (Research Field)		学年 Grade (School Year)		入学年度 Admission year	
研究題目 Research Title					
研究指導計画 Research Instruction Plan					
指導教員名 Supervisor		副指導教員名（所属機関） Co-supervisor (affiliation)	()		
研究計画（研究の目的、概要、学会発表予定、論文作成予定等）：指導教員と打ち合わせのうえ、学生が記入 Research Plan (Objective, Outline, Presentation Schedule, Dissertation Writing Schedule, etc.): <i>to be filled in by students under the guidance of Supervisor(s)</i>					
研究指導計画（「研究計画」を踏まえ、当該学生を指導する方法、内容、計画等）：指導教員が記入 Research Supervsion Plan (Direction, Contents, schedule to instruct the student based on the Research Plan) : <i>to be filled in by Supervisor</i>					
特記事項 Special remark					
研究計画に変更があった場合は、学生が概要を追記 If there is a change in the research plan, the student will have to provide an amended research outline.					

(表面)

研究指導報告書

【 年 月 日作成】
【 / / DATE】
(yyyy/mm/dd)

研究の進捗について*：学生が記入

Research Progression*：to be filled in by student

*当初の計画から指導を受け変更した場合、新たな研究内容に対する評価

* Evaluation of new research content in the case of changes made to the original research plan as advised

a. 予定を超えた進捗があった Excellent	b. 十分進捗した Good	c. ある程度進捗した Reasonably good	d. 満足する進捗ではなかった Not satisfactory
---------------------------------	----------------------	-----------------------------------	--

「d.」の場合は、理由や状況などを記載すること。

In the case of 'd.', explain the reason and situation.

所見と次年度の留意点（下記項目については適宜修正可能）：指導教員が記入

Annual review and improvements for next year.

(The following items can be modified accordingly)：to be filled in by Supervisor

- ・研究打合せについて
Research meetings
- ・研究の進行について
Research progress
- ・論文の進捗について
Dissertation writing progress
- ・その他
Others

(裏面)

3. 授業科目表、時間割表

【授業科目表（基礎導入科目）】

時間割コード	学期	曜日・時限	授業科目	授業科目(英)	単位数	主担当教員	授業担当教員
775004	集中	他6	生命倫理学M	Bioethics M	2	毛利 育子	磯野 萌子、古結 敦士、平井 啓、楠木 重範、馬戸 史子、小門 穂、霜田 求、馬場 幸子、和田 和子
775005	集中	他5,6	研究基礎技法M	Basic Research Skills M	2	毛利 育子	西村 倫子、岡 雄一郎、吉村 武、横山 茂、吉村 優子、池田 尊司、千住 淳、岩渕 俊樹、山下 雅俊、平野 好幸、大島 郁葉、松崎 秀夫、謝 敏かく
775024	春	木6 金6	臨床遺伝学M	Clinical Genetics M	1	松崎 秀夫	山本 賢一、高橋 正紀
775027	春	金5 月6	基礎神経科学M	Basic Neuroscience M	1	岡 雄一郎	佐藤 真、藤田 慶大、和氣 弘明、謝 敏かく、猪口 徳一
775030	春	火5	小児発達医学 1 M	Developmental Pediatrics 1M	1	下野 九理子	毛利 育子、橘 雅弥、平田 郁子、加藤 久美、椎野 智子、山田 貴志
775034	春	木5・6	疫学統計学 1 M	Epidemiology and Biostatistics 1M	1	土屋 賢治	千住 淳、西村 倫子、奥村 明美、大森 侑香
775040	春	月5	発達臨床心理学 1 M	Developmental Clinical Psychology 1M	1	西村 倫子	山本 知加、石井 篤子、平井 啓、酒井 佐枝子、望月 直人、栗田 幸平
775046	春	水5	認知行動療法学 1 M	Cognitive Behavioral Therapy 1M	1	平野 好幸	清水 栄司、加藤 奈子、大島 郁葉、杉山 尚子、久能 勝、吉田 斎子
775025	夏	金5	発達分子生物学M	Developmental molecular biology M	1	木村 亮	松崎 伸介、吉村 武、早田 敦子、服部 剛志、三好 耕、藤原 悠紀、早川 英規
775035	夏	木5・6	疫学統計学 2 M	Epidemiology and Biostatistics 2M	1	土屋 賢治	西村 倫子、木村 亮
775041	夏	月5	発達臨床心理学 2 M	Developmental Clinical Psychology 2M	1	西村 倫子	藤野 陽生、村田 絵美、吉崎 亜里香、平田 郁絵
775044	夏	水6	小児保健学M	Child Health M	1	山崎 あけみ	上原 佳子、安倍 博、重松 陽介、森本 武志、濱谷 沙世、中山 祐一、川原 妙
775047	夏	水5	認知行動療法学 2 M	Cognitive Behavioral Therapy 2M	1	大島 郁葉	清水 栄司、加藤 奈子、沼田 法子、関 陽一、久能 勝、田口 佳代子
775048	夏	金6	社会支援学M	Social Sevicees for Developmental Disabilities M	1	千住 淳	奥村 明美、大島 郁葉、和久田 学、猪原 裕子
775051	夏	火5	ストレスチェック学校保健学M	Stress Check School Health M	1	清水 栄司	堀 清一郎、池水 結輝、江藤 愛子
775052	夏	火6	インストラクショナルデザイン研究M	Instructional Design Research M	1	岸 俊行	
775053	夏	月6	発達教育心理学M	Developmental and Educational Psychology M	1	大西 将史	
775020	秋	金6	神経薬理学 1 M	Neuropharmacology 1M	1	片山 泰一	田熊 一敏、早田 敦子
775022	秋	水5	行動情動神経科学 1 M	Cognitive Neuroscience of Emotion and Behavior 1M	1	藤田 慶大	大黒 多希子、堀家 慎一、三枝 理博
775026	秋	水6	神経社会環境学M	Socio-Neuro Science M	1	菊知 充	太田 英伸、池田 尊司、田中 早苗、廣澤 徹、村山 恭朗、越田 理恵、村中 達矢
775031	秋	火5	小児発達医学 2 M	Developmental Pediatrics 2M	1	下野 九理子	岩谷 祥子、青天目 信、佐藤 拓代、北畠 康司、楠木 重範、吉田 寿雄、橘 真紀子
775032	秋	月5	児童精神医学 1 M	Child and Adolescent Psychiatry 1M	1	土屋 賢治	児島 正樹、高貝 就、高橋 長秀、亀野 陽亮
775036	秋	木5・6	運動機能制御学 1 M	Human Movement and Health 1M	1	堀家 慎一	堀 修、横山 茂
775038	秋	月6	機能画像解析学 1 M	Functional Neuroimaging 1M	1	水野 賀史	岩渕 俊樹、池田 尊司、児島 正樹、寿 秋露、渡邊 裕之、北村 陽二、横倉 正倫
775042	秋	金5	小児発達評価学M	Assessment of Developmental Disorder M	1	吉村 優子	上田 功、藤澤 隆史、大井 学
775021	冬	金6	神経薬理学 2 M	Neuropharmacology 2M	1	片山 泰一	栗生 智香
775023	冬	水5	行動情動神経科学 2 M	Cognitive Neuroscience of Emotion and Behavior 2M	1	藤田 慶大	堀 修、辻 知陽、片山 泰一
775028	冬	水6	発達基礎神経科学M	Basic Developmental Neuroscience M	1	木村 亮	吉村 武、岡 雄一郎、栗生 智香、加藤 陽子、松崎 伸介、猪口 徳一、安村 美里
775033	冬	月5	児童精神医学 2 M	Child and Adolescent Psychiatry 2M	1	土屋 賢治	児島 正樹、高貝 就、杉山 登志郎、山末 英典、高橋 長秀
775037	冬	木5・6	運動機能制御学 2 M	Human Movement and Health 2M	1	堀家 慎一	横山 茂、東田 陽博、吉原 亨
775039	冬	月6	機能画像解析学 2 M	Functional Neuroimaging 2M	1	水野 賀史	児島 正樹、山下 雅俊、小坂 浩隆、岩谷 祥子、廣澤 徹、山末 英典、平野 好幸
775043	冬	火5	小児発達療育学M	Intervention of Developmental Disorder M	1	荒木 友希子	小林 宏明、平谷 美智夫、藤岡 徹、清水 聡
775049	冬	金5	教育発達支援学M	Educational and Developmental Support M	1	久能 勝	大湊 俊幸、松澤 大輔、杉田 克生、大島 郁葉、浦尾 悠子、佐々木 剛、吉田 斎子

【時間割表・基礎導入科目】

【春学期】(4/1-6/14)												【夏学期】(6/15-9/30)									
		3/30	4/6	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10
月	5			発達臨床心理学 1 M			休業日	発達臨床心理学 1 M					発達臨床心理学 2 M				休業日	発達臨床心理学 2 M			
	西村			山本(知)		石井		平井	酒井	望月	栗田	藤野	藤野	吉崎	野坂	平田(郁絵)		村田	西村(0.5)		
	生命倫理学M			基礎神経科学M					発達教育心理学M				発達教育心理学M								
	霜田			平井	小門	猪口		謝	岡	大西				大西							
		3/31	4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11
火	5			小児発達医学 1 M			休業日	小児発達医学 1 M					ストレスチェック学校保健学M								休業日
	下野			毛利	橘(雅)	橘(雅)		平田(郁子)	加藤(久)	椎野	山田	清水(栄)	池水	堀(清)	江藤	清水(栄)	江藤(0.5)				
	生命倫理学M			研究基礎技法M					インストラクショナルデザイン研究M												
	和田			古結	小門	毛利		岡	千住	吉村(優)	山下	岸									
		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12
水	5	入学 ガイダンス		認知行動療法学 1 M			休業日	認知行動療法学 1 M					認知行動療法学 2 M								
	清水(栄)			杉山(尚)	吉田(斎)	吉田(斎)		加藤(奈)	平野	大島	久能	久能	関	清水(栄)	大島	加藤(奈)	沼田	田口			
	生命倫理学M			研究基礎技法M					小児保健学M												
	磯野			和田	馬場	西村		大島		平野	横山	山崎	安倍	中山	上原	重松	森本	濱谷	川原		
		4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13
木	5	教授会 開催 予定日	疫学統計学 1 M				教授会 開催 予定日	疫学統計学 1 M			教授会 開催 予定日	疫学統計学 1 M	疫学統計学 2 M	教授会 開催 予定日	疫学統計学 2 M				教授会 開催 予定日		
	土屋		大森	土屋	千住	西村		奥村	土屋	西村		西村			土屋						
	生命倫理学M				臨床遺伝学M				発達分子生物学M			疫学統計学 2 M									
	磯野		平井		松崎(秀)			山本(賢)	松崎(伸)	木村		土屋									
		4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14
金	5		基礎神経科学M			創立 記念日	基礎神経科 学M	研究基礎技法M					発達分子生物学M								
	佐藤(真)		藤田	和氣	謝		吉村(武)	謝	池田	松崎	岩渕	吉村(武)	早田	服部	三好	早川	藤原				
	生命倫理学M			臨床遺伝学M				社会支援学M													
	霜田		楠木	馬戸	松崎(秀)		高橋(正)	山本(賢)	千住	和久田		猪原	奥村	千住	大島						

【秋学期】(10/1-12/3)										【冬学期】(12/4-3/31)											
		9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8
月	5		児童精神医学 1 M	休業日	児童精神医学 1 M					休業日	児童精神医学 1 M	児童精神医学 2 M			冬季休業	児童精神医学 2 M	休業日	児童精神医学 2 M			
		高貝	土屋		高橋(長)		土屋	児島	児島			高貝	杉山(登)	山末		高橋(長)		土屋			
	6	機能画像解析学 1 M	機能画像解析学 1 M					機能画像解析学 1 M	機能画像解析学 2 M			機能画像解析学 2 M	機能画像解析学 2 M								
			岩渕		池田	児島	渡邊	北村	横倉		水野(0.5)	児島	山下	小坂		岩谷		廣澤	平野	山末	水野(0.5)
		9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9
火	5		小児発達医学 2 M				休業日	小児発達医学 2 M				小児発達療育学M			冬季休業	小児発達療育学M					
		下野	岩谷	北畠	青天目	楠木		吉田(寿)	佐藤(拓)	橘(真)	平谷	小林	清水(聡)	清水(聡)		藤岡		荒木			
	6				機能画像解析学 1 M																
					寿																
		9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10
水	5		行動情動神経科学 1 M								行動情動神経科学 2 M			冬季休業	行動情動神経科学 2 M						
		藤田			大黒	堀家		三枝	堀(修)	辻		辻	片山		藤田						
	6	神経社会環境学M								発達基礎神経科学M			発達基礎神経科学M								
			池田	田中	太田	村中	村山	越田	廣澤	菊知	猪口	吉村(武)	安村		岡	栗生	加藤(陽)	松崎(伸)	木村		
		10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11
木	5	教授会開催予定日	運動生体管理学 1 M				教授会開催予定日	運動生体管理学 1 M			教授会開催予定日	運動生体管理学 2 M			冬季休業	教授会開催予定日	運動生体管理学 2 M			教授会開催予定日	休業日
		堀(修)			横山		横山			横山			堀家								
	6	運動生体管理学 1 M						児童精神医学 1 M								運動生体管理学 2 M				運動生体管理学 2 M	
			堀(修)					亀野							東田				吉原		
		10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12
金	5	小児発達評価学M									教育発達支援学M				冬季休業	教育発達支援学M		臨時休業	教育発達支援学M		
		上田		吉村(優)		大井		藤澤		大湫	杉田	松澤	佐々木	吉田(斎)		久能	大島		浦尾		
	6	神経薬理学 1 M									神経薬理学 2 M					神経薬理学 2 M			神経薬理学 2 M		
		田熊					早田				栗生		片山			片山		片山			

※授業担当教員より、期限の指定があった場合を除き、当該講義日から2週間以内に提出すること。

【授業科目表（基礎演習科目）】

時間割 コード	学期	授業科目名	授業科目(英)	単 位 数	主担当教員	授業担当教員
775101	春～夏学期	こころの発達神経科学基礎演習	Training Program on Developmental Neuroscience	3	木村 亮	片山 泰一、毛利 育子、下野 九理子、橘 雅弥、西村 倫子、岡 雄一郎、三好 耕、藤原 悠紀、粟生 智香、平田 郁子、岩谷 祥子、楠永 栄子、山本 知加、吉崎 亜里香、望月 直人、山田 貴志、早川 英規
775102	春～夏学期	こころの相互認知科学基礎演習	Training Program on Socio-cognitive Neuroscience	3	池田 尊司	菊知 充、堀家 慎一、藤田 慶大、荒木 友希子、辻 知陽、長谷川 千秋、横山 茂
775103	春～夏学期	こころの発達健康科学基礎演習	Training Program on Neuropsychological Development and Health Sciences	3	土屋 賢治	千住 淳、児島 正樹、山下 雅俊、原田 妙子、奥村 明美、川上 澄香、平石 博敏、長田 アビル、須田 桃香、水谷 柳子、猪原 裕子、大森 侑香
775104	春～夏学期	こころの認知行動科学基礎演習	Training Program on Cognitive Behavioral Science	3	平野 好幸	清水 栄司、大島 郁葉、沼田 法子、浦尾 悠子、久能 勝、関 陽一、田口 佳代子、加藤 奈子、小島 隆行、大田 淳子、ブーサル チャタクリ リトゥ、吉田 斎子、池水 結輝
775105	春～夏学期	こころの形成発達科学基礎演習	Training Program on Developmental Higher Brain Functions	3	松崎 秀夫	廣澤 愛子、水野 賀史、濱谷 沙世、山下 雅俊、寿 秋露
775201	秋～冬学期	こころの発達神経科学基礎演習	Training Program on Developmental Neuroscience	3	木村 亮	片山 泰一、毛利 育子、下野 九理子、橘 雅弥、西村 倫子、岡 雄一郎、三好 耕、藤原 悠紀、粟生 智香、平田 郁子、岩谷 祥子、楠永 栄子、山本 知加、吉崎 亜里香、望月 直人、山田 貴志、早川 英規
775202	秋～冬学期	こころの相互認知科学基礎演習	Training Program on Socio-cognitive Neuroscience	3	池田 尊司	菊知 充、堀家 慎一、藤田 慶大、荒木 友希子、辻 知陽、長谷川 千秋、横山 茂
775203	秋～冬学期	こころの発達健康科学基礎演習	Training Program on Neuropsychological Development and Health Sciences	3	土屋 賢治	千住 淳、児島 正樹、山下 雅俊、原田 妙子、奥村 明美、川上 澄香、平石 博敏、長田 アビル、須田 桃香、水谷 柳子、猪原 裕子、大森 侑香
775204	秋～冬学期	こころの認知行動科学基礎演習	Training Program on Cognitive Behavioral Science	3	平野 好幸	清水 栄司、大島 郁葉、沼田 法子、浦尾 悠子、久能 勝、関 陽一、田口 佳代子、加藤 奈子、小島 隆行、大田 淳子、ブーサル チャタクリ リトゥ、吉田 斎子、池水 結輝
775205	秋～冬学期	こころの形成発達科学基礎演習	Training Program on Developmental Higher Brain Functions	3	松崎 秀夫	廣澤 愛子、水野 賀史、濱谷 沙世、山下 雅俊、寿 秋露

※基礎演習科目は年2回開講され、1年次の間に2回受講します。

※基礎演習科目は、所属校（講座）で開講される科目を受講します。

【授業開講時間】

1 時限 (8:50-10:20)、2 時限 (10:30-12:00)、3 時限 (13:00-14:30)、4 時限 (14:40-16:10)、
5 時限 (16:20-17:50)、6 時限 (18:00-19:30)

【授業科目表（基礎特論科目）】

時間割 コード	学期	授業科目名	授業科目(英)	単 位 数	主担当教員	担当教員
775320	春～夏学期	分子生物学基礎特論	Course for Molecular Brain Science	3	片山 泰一	三好 耕、藤原 悠紀、早川 英規、青木 京子
775321	春～夏学期	認知行動生物学基礎特論	Course for Cognitive and Behavioral Neurobiology	3	藤田 慶大	辻 知陽、北村 陽二、小阪 孝史
775322	春～夏学期	画像生物学基礎特論	Seminar in Molecular Imaging Biology	3	尾内 康臣	山末 英典、山下 雅俊、児島 正樹、横倉 正倫、原田 妙子、平石 博敏、 (予定教員)
775323	春～夏学期	神経人間社会環境学基礎特論	Course for Socio-Neuro Science	3	菊知 充	太田 英伸、廣澤 徹
775324	春～夏学期	情動認知発達学基礎特論	Course for Developmental Emotional Intelligence	3	水野 賀史	濱谷 沙世、寿 秋露、伏見 育崇
775325	春～夏学期	認知行動脳科学基礎特論	Course for Cognitive Behavioral Brain Science	3	平野 好幸	松澤 大輔、小島 隆行、久能 勝、大田 淳子、 ブーサル チャタクリ リトウ、吉田 斎子、池水 結輝
775326	春～夏学期	発達神経科学基礎特論	Course for Developmental Neuroscience	3	岡 雄一郎	佐藤 真
775327	春～夏学期	生命情報学基礎特論	Course for Bioinformatics	3	木村 亮	
775328	春～夏学期	子ども神経レジリエンス学基礎特論	Course for Developmental Neuroresilience	3	山田 貴志	
775330	春～夏学期	高次脳機能学基礎特論	Course in Neuroscience	3	池田 尊司	奥村 栄一、齋藤 大輔
775331	春～夏学期	小児発達神経学基礎特論	Course for Pediatric Developmental Neurology	3	下野 九理子	岩谷 祥子、山田 貴志、栗田 幸平
775332	春～夏学期	疫学統計学基礎特論	Seminar in Epidemiology and Biostatistics	3	土屋 賢治	千住 淳、高貝 就、西村 倫子、高橋 長秀、児島 正樹、山下 雅俊、 奥村 明美、原田 妙子、川上 澄香、須田 桃香、長田 アビル、 岡本 宙、水谷 柳子、猪原 裕子、入口 真夕子、大森 侑香
775334	春～夏学期	協調運動障害学基礎特論	Seminar on Coordination Movement	3	堀家 慎一	辻 知陽、横山 茂、東田 陽博
775335	春～夏学期	脳機能発達学基礎特論	Course for Development of Functional Brain Activities	3	松崎 秀夫	謝 敏かく、國石 洋
775336	春～夏学期	環境行動小児科学基礎特論	Course for Environmental and Behavioral pediatrics	3	毛利 育子	橘 雅弥、平田 郁子
775340	春～夏学期	子育て支援学基礎特論	Course for Selected Topics on Psychological Support for Child Development	3	西村 倫子	藤野 陽生、山本 知加、石井 篤子、吉崎 亜里香
775341	春～夏学期	コミュニケーション支援学基礎特論	Seminar in Communication Disorders	3	小林 宏明	荒木 友希子、吉村 優子、田中 早苗
775342	春～夏学期	社会支援学基礎特論	Seminar in Social Services for Developmental Disabilities	3	千住 淳	土屋 賢治、高貝 就、西村 倫子、高橋 長秀、児島 正樹、山下 雅俊、 奥村 明美、原田 妙子、川上 澄香、須田 桃香、長田 アビル、 岡本 宙、水谷 柳子、猪原 裕子、入口 真夕子、大森 侑香
775343	春～夏学期	発達環境支援学基礎特論	Course for Psychosocial Support for Nurturing	3	水野 賀史	倉田 佐和
775344	春～夏学期	メンタルヘルス支援学基礎特論	Course for Mental Health Support	3	清水 栄司	大溪 俊幸、花澤 寿、浦尾 悠子
775345	春～夏学期	認知行動療法学基礎特論	Course for Cognitive Behavioral Therapy	3	大島 郁葉	沼田 法子、関 陽一
775420	秋～冬学期	分子生物学基礎特論	Course for Molecular Brain Science	3	片山 泰一	三好 耕、藤原 悠紀、早川 英規、青木 京子
775421	秋～冬学期	認知行動生物学基礎特論	Course for Cognitive and Behavioral Neurobiology	3	藤田 慶大	辻 知陽、北村 陽二、小阪 孝史
775422	秋～冬学期	画像生物学基礎特論	Seminar in Molecular Imaging Biology	3	尾内 康臣	山末 英典、山下 雅俊、児島 正樹、横倉 正倫、原田 妙子、平石 博敏、 (予定教員)
775423	秋～冬学期	神経人間社会環境学基礎特論	Course for Socio-Neuro Science	3	菊知 充	太田 英伸、廣澤 徹
775424	秋～冬学期	情動認知発達学基礎特論	Course for Developmental Emotional Intelligence	3	水野 賀史	濱谷 沙世、寿 秋露、伏見 育崇
775425	秋～冬学期	認知行動脳科学基礎特論	Course for Cognitive Behavioral Brain Science	3	平野 好幸	松澤 大輔、小島 隆行、久能 勝、大田 淳子、 ブーサル チャタクリ リトウ、吉田 斎子、池水 結輝
775426	秋～冬学期	発達神経科学基礎特論	Course for Developmental Neuroscience	3	岡 雄一郎	佐藤 真
775427	秋～冬学期	生命情報学基礎特論	Course for Bioinformatics	3	木村 亮	
775428	秋～冬学期	子ども神経レジリエンス学基礎特論	Course for Developmental Neuroresilience	3	山田 貴志	
775430	秋～冬学期	高次脳機能学基礎特論	Course in Neuroscience	3	池田 尊司	奥村 栄一、齋藤 大輔
775431	秋～冬学期	小児発達神経学基礎特論	Course for Pediatric Developmental Neurology	3	下野 九理子	岩谷 祥子、山田 貴志、栗田 幸平
775432	秋～冬学期	疫学統計学基礎特論	Seminar in Epidemiology and Biostatistics	3	土屋 賢治	千住 淳、高貝 就、西村 倫子、高橋 長秀、児島 正樹、山下 雅俊、 奥村 明美、原田 妙子、川上 澄香、須田 桃香、長田 アビル、 岡本 宙、水谷 柳子、猪原 裕子、入口 真夕子、大森 侑香
775434	秋～冬学期	協調運動障害学基礎特論	Seminar on Coordination Movement	3	堀家 慎一	辻 知陽、横山 茂、東田 陽博
775435	秋～冬学期	脳機能発達学基礎特論	Course for Development of Functional Brain Activities	3	松崎 秀夫	謝 敏かく、國石 洋
775436	秋～冬学期	環境行動小児科学基礎特論	Course for Environmental and Behavioral pediatrics	3	毛利 育子	橘 雅弥、平田 郁子
775440	秋～冬学期	子育て支援学基礎特論	Course for Selected Topics on Psychological Support for Child Development	3	西村 倫子	藤野 陽生、山本 知加、石井 篤子、吉崎 亜里香
775441	秋～冬学期	コミュニケーション支援学基礎特論	Seminar in Communication Disorders	3	小林 宏明	荒木 友希子、吉村 優子、田中 早苗
775442	秋～冬学期	社会支援学基礎特論	Seminar in Social Services for Developmental Disabilities	3	千住 淳	土屋 賢治、高貝 就、西村 倫子、高橋 長秀、児島 正樹、山下 雅俊、 奥村 明美、原田 妙子、川上 澄香、須田 桃香、長田 アビル、 岡本 宙、水谷 柳子、猪原 裕子、入口 真夕子、大森 侑香
775443	秋～冬学期	発達環境支援学基礎特論	Course for Psychosocial Support for Nurturing	3	水野 賀史	倉田 佐和
775444	秋～冬学期	メンタルヘルス支援学基礎特論	Course for Mental Health Support	3	清水 栄司	大溪 俊幸、花澤 寿、浦尾 悠子
775445	秋～冬学期	認知行動療法学基礎特論	Course for Cognitive Behavioral Therapy	3	大島 郁葉	沼田 法子、関 陽一

【【授業科目一覧】】

区分		授業科目名	授業科目(英)	ナンバリング	時間割コード		主担当教員	必修	選択	配当 年次	備考
					春夏	秋冬					
基礎導入科目	生命科学系科目	生命倫理学M	Bioethics M	7ACHDE6Q300	775004		毛利 育子	2		1	
		研究基礎技法M	Basic Resarch Skills M	7ACHDE6Q300	775005		毛利 育子	2		1	
		神経薬理学 1 M	Neuropharmacology 1M	7ACHDE6Q300		775020	片山 泰一		1	1	
		神経薬理学 2 M	Neuropharmacology 2M	7ACHDE6Q300		775021	片山 泰一		1	1	
		行動情動神経科学 1 M	Cognitive Neuroscience of Emotion and Behavior 1M	7ACHDE6Q300		775022	藤田 慶大		1	1	
		行動情動神経科学 2 M	Cognitive Neuroscience of Emotion and Behavior 2M	7ACHDE6Q300		775023	藤田 慶大		1	1	
		臨床遺伝学M	Clinical Genetics M	7ACHDE6Q300	775024		松崎 秀夫		1	1	
		発達分子生物学M	Developmental molecular biology M	7ACHDE6Q300	775025		木村 亮		1	1	
		神経社会環境学M	Socio-Neuro Science M	7ACHDE6Q300		775026	菊知 充		1	1	
		基礎神経科学M	Basic Neuroscience M	7ACHDE6Q300	775027		岡 雄一郎		1	1	
	発達基礎神経科学M	Basic Developmental Neuroscience M	7ACHDE6Q300		775028	木村 亮		1	1		
	医療系科目	小児発達医学 1 M	Developmental Pediatrics 1M	7ACHDE6Q301	775030		下野 九理子		1	1	
		小児発達医学 2 M	Developmental Pediatrics 2M	7ACHDE6Q301		775031	下野 九理子		1	1	
		児童精神医学 1 M	Child and Adolescent Psychiatry 1M	7ACHDE6Q301		775032	土屋 賢治		1	1	
		児童精神医学 2 M	Child and Adolescent Psychiatry 2M	7ACHDE6Q301		775033	土屋 賢治		1	1	
		疫学統計学 1 M	Epidemiology and Biostatistics 1M	7ACHDE6Q301	775034		土屋 賢治		1	1	
		疫学統計学 2 M	Epidemiology and Biostatistics 2M	7ACHDE6Q301	775035		土屋 賢治		1	1	
		運動機能制御学 1 M	Human Movement and Health 1M	7ACHDE6Q301		775036	堀家 慎一		1	1	
		運動機能制御学 2 M	Human Movement and Health 2M	7ACHDE6Q301		775037	堀家 慎一		1	1	
		機能画像解析学 1 M	Functional Neuroimaging 1M	7ACHDE6Q301		775038	水野 賀史		1	1	
		機能画像解析学 2 M	Functional Neuroimaging 2M	7ACHDE6Q301		775039	水野 賀史		1	1	
	社会・心理系科目	発達臨床心理学 1 M	Developmental Clinical Psychology 1M	7ACHDE6Q302	775040		西村 倫子		1	1	
		発達臨床心理学 2 M	Developmental Clinical Psychology 2M	7ACHDE6Q302	775041		西村 倫子		1	1	
		小児発達評価学M	Assessment of Developmental Disorder M	7ACHDE6Q302		775042	吉村 優子		1	1	
		小児発達療育学M	Intervention of Developmental Disorder M	7ACHDE6Q302		775043	荒木 友希子		1	1	
		小児保健学M	Child Health M	7ACHDE6Q302	775044		山崎 あけみ		1	1	
		認知行動療法学 1 M	Cognitive Behavioral Therapy 1M	7ACHDE6Q302	775046		平野 好幸		1	1	
		認知行動療法学 2 M	Cognitive Behavioral Therapy 2M	7ACHDE6Q302	775047		大島 郁葉		1	1	
		社会支援学M	Social Sevices for Developmental Disabilities M	7ACHDE6Q302	775048		千住 淳		1	1	
		教育発達支援学M	Educational and Developmental Support M	7ACHDE6Q302		775049	久能 勝		1	1	
		ストレスチェック学校保健学M	Stress Check School Health M	7ACHDE6Q302	775051		清水 栄司		1	1	
		インストラクショナルデザイン研究M	Instructional Design Research M	7ACHDE6Q302	775052		岸 俊行		1	1	
		発達教育心理学M	Developmental and Educational Psychology M	7ACHDE6Q302	775053		大西 将史		1	1	
		基礎導入科目修了要件単位数							4	14	18単位以上
基礎演習科目			こころの発達神経科学基礎演習	Training Program on Developmental Neuroscience	7ACHDE6Q303	775101	775201	木村 亮		3	1
	こころの相互認知科学基礎演習		Training Program on Socio-cognitive Neuroscience	7ACHDE6Q303	775102	775202	池田 尊司		3	1	
	こころの発達健康科学基礎演習		Training Program on Neuropsychological Development and Health Sciences	7ACHDE6Q303	775103	775203	土屋 賢治		3	1	
	こころの認知行動科学基礎演習		Training Program on Cognitive Behavioral Science	7ACHDE6Q303	775104	775204	平野 好幸		3	1	
	こころの形成発達科学基礎演習		Training Program on Developmental Higher Brain Functions	7ACHDE6Q303	775105	775205	松崎 秀夫		3	1	
	基礎演習科目修了要件単位数								6	6単位以上	
基礎特論科目	生命科学系科目	分子生物学基礎特論	Course for Molecular Brain Science	7ACHDE6Q303	775320	775420	片山 泰一		3	2	
		認知行動生物学基礎特論	Course for Cognitive and Behavioral Neurobiology	7ACHDE6Q303	775321	775421	藤田 慶大		3	2	
		画像生物学基礎特論	Seminar in Molecular Imaging Biology	7ACHDE6Q303	775322	775422	尾内 康臣		3	2	
		神経人間社会環境学基礎特論	Course for Socio-Neuro Science	7ACHDE6Q303	775323	775423	菊知 充		3	2	
		情動認知発達学基礎特論	Course for Developmental Emotional Intelligence	7ACHDE6Q303	775324	775424	水野 賀史		3	2	
		認知行動脳科学基礎特論	Course for Cognitive Behavioral Brain Science	7ACHDE6Q303	775325	775425	平野 好幸		3	2	
		発達神経科学基礎特論	Course for Developmental Neuroscience	7ACHDE6Q303	775326	775426	岡 雄一郎		3	2	
		生命情報学基礎特論	Course for Bioinformatics	7ACHDE6Q303	775327	775427	木村 亮		3	2	
		子ども神経レジリエンス学基礎特論	Course for Develpmental Neuroresilience	7ACHDE6Q303	775328	775428	山田 貴志		3	2	
		高次脳機能学基礎特論	Course in Neuroscience	7ACHDE6Q303	775330	775430	池田 尊司		3	2	
	医療系科目	小児発達神経学基礎特論	Course for Pediatric Developmental Neurology	7ACHDE6Q303	775331	775431	下野 九理子		3	2	
		疫学統計学基礎特論	Seminar in Epidemiology and Biostatistics	7ACHDE6Q303	775332	775432	土屋 賢治		3	2	
		協調運動障害学基礎特論	Seminar on Coordination Movement	7ACHDE6Q303	775334	775434	堀家 慎一		3	2	
		脳機能発達学基礎特論	Course for Development of Functional Brain Activities	7ACHDE6Q303	775335	775435	松崎 秀夫		3	2	
		環境行動小児科学基礎特論	Course for Environmental and Behavioral pediatrics	7ACHDE6Q303	775336	775436	毛利 育子		3	2	
		社会・心理系科目	子育て支援学基礎特論	Course for Selected Topics on Psychological Support for Child Development	7ACHDE6Q303	775340	775440	西村 倫子		3	2
	コミュニケーション支援学基礎特論		Seminar in Communication Disorders	7ACHDE6Q303	775341	775441	小林 宏明		3	2	
	社会支援学基礎特論		Seminar in Social Services for Developmental Disabilities	7ACHDE6Q303	775342	775442	千住 淳		3	2	
	発達環境支援学基礎特論		Course for Psychosocial Support for Nurturing	7ACHDE6Q303	775343	775443	水野 賀史		3	2	
	メンタルヘルス支援学基礎特論		Course for Mental Health Support	7ACHDE6Q303	775344	775444	清水 栄司		3	2	
	認知行動療法学基礎特論		Course for Cognitive Behavioral Therapy	7ACHDE6Q303	775345	775445	大島 郁葉		3	2	
	基礎特論科目修了要件単位数								6	6単位以上	
	修了要件単位数							4	26	30単位以上	

4. 履修方法等について

1. 履修登録について

基礎導入科目の中から18単位（必修4単位を含む）以上、基礎演習科目から6単位、基礎特論科目から6単位の合計30単位以上を修得します。基礎導入科目・基礎演習科目は1年次、基礎特論科目は2年次に履修します。（「授業科目表」参照）

1年次の履修登録は、シラバスを参照し、指導教員の指導を受けながら慎重に進め、履修科目届に記入した内容をもとに大阪大学ポータルサイトから学務情報システム（KOAN）上に直接入力することにより行います。履修科目届は、指導教員の署名をもらい担当窓口に提出します。（春学期 履修科目届提出期限：4月3日（金）12時まで）

なお、夏学期以降の履修登録についての詳細は、後日お知らせします。

2. 導入科目における出席の取扱いについて

授業における出席は、通学し対面または Zoom ミーティングにより、リアルタイムで受講することを原則とします。ただし、通学し対面または Zoom ミーティングによる受講ができず、代わりに授業が収録され e-Learning 教材を視聴する場合は、当該授業に関して授業担当教員から与えられる課題を提出することにより、出席とみなします。

※授業担当教員より期限の指定があった場合を除き、当該講義日から2週間以内に提出すること。

なお、「連合小児発達学研究科における授業及び試験の欠席に対する取扱いについて」別表に掲げる事由により授業を欠席するもしくは欠席した学生は、別表に掲げる証明書類等とともに授業担当教員に申し出（メール連絡可）をしてください。

3. 気象警報発令時の授業の取扱いについて

気象警報発令時の授業の取扱いについては、「気象警報発令時の授業の取扱いについて」に基づきメールにてお知らせします。

4. 基礎演習科目の履修について

基礎演習科目は、所属校（講座）にて開講される科目を、1年次春～夏・秋～冬学期に履修します。授業開講スケジュールは、所属校（講座）により異なります。

5. 学位について

修士の学位は2年以上在学し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、論文審査及び最終試験に合格した者（連合小児発達学研究科博士前期課程を修了した者）に授与します。授与する学位は、「修士（小児発達学）」（「Master of Child Development」）となります。

学位の申請は、次の要件を満たす場合に行うことができます。

- ・論文は、論文形式としての体裁をとるとともに、英文抄録を添付すること。
- ・論文は、申請者が筆頭著者であり、共著者が学位申請（予定）していないものに限る。
（筆頭著者が複数の場合は、協議を要する。）
- ・必要となる論文の本数は、英文、和文いずれか1報以上とし、研究科入学後の業績によるものとする。
詳細は、別途お知らせします。

6. 研究発表会（公聴会）および学内外研究セミナーへの出席必須化について

2年次（秋～冬学期）における基礎特論科目の修了要件の1つとして、1年次から2年次における研究発表会（公聴会）および学内外研究セミナーへの出席を必須としています。詳細については、17ページを確認してください。

連合小児発達学研究科における授業及び試験の欠席に関する取扱いについて

(平成26年2月4日 教務担当者会議承認)

○趣 旨

この取扱いは、「大阪大学における授業及び試験の欠席に関する取扱」(平成25年12月17日大阪大学教育課程委員会承認)に基づき、連合小児発達学研究科における学生の授業及び試験(以下「授業等」という。)の欠席に関する取扱いについて、定めるものとする。

○欠席事由及び配慮

別表に掲げる事由により学生が授業等を欠席する若しくは欠席した場合、授業担当教員においては、当該学生が履修上不利益とならないよう配慮するものとする。

また、別表に掲げる事由以外のその他の事由による欠席の場合、授業担当教員は、授業主担当教員と協議し、事情を勘案のうえ当該学生が履修上不利益とならないよう配慮することができるものとする。

○手続き等

別表に掲げる事由により学生が授業等を欠席する若しくは欠席した場合、当該学生は授業担当教員に対して、事前若しくは事後の場合は欠席した翌日(土日祝日を除く)までに、別表に掲げる証明書類等とともに申し出(メール連絡可)するものとする。

また、別表に掲げる事由以外のその他の事由による欠席の場合についても同様に手続きし、学生は授業担当教員に対して、履修上不利益とならないよう配慮を求める申し出をすることができるものとする。

○配慮の内容等

別表に掲げる事由により学生が授業等を欠席する若しくは欠席した旨の申し出があった場合、授業担当教員は、履修上不利益とならないよう無断欠席とは区別し、配慮するものとする。

また、別表に掲げる事由以外のその他の事由による欠席の場合については、授業担当教員は授業主担当教員と配慮について協議するものとする。

なお、欠席課題レポートの提出の有無や、評価方法等の配慮の内容については、授業担当教員間で判断するものとする。

(別 表)

欠席事由	配慮を要する期間	証明書類等
① 学校感染症(学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症)を罹患したことにより出席停止の措置を受けた場合	学校保健安全法施行規則第19条に規定する出席停止の期間	医師の診断書等
② 親族(2親等以内)が死亡した場合	配偶者・1親等…死亡日から起算して連続7日以内、2親等…死亡日から起算して連続3日以内	会葬はがき等の写し等(死亡日又は葬儀日等が記載されたもの)
③ 「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づく裁判員の選任手続きのため及び裁判員の職務に従事するため裁判所に出頭した場合	裁判所に出頭した日	裁判所からの出頭依頼文等
④ 教職課程の「教育(養護)実習」及び「介護等の体験」に参加する場合	「教育(養護)実習」及び「介護等の体験」の期間	実習(体験)参加が確認できる書類
⑤ 各校における居住地及び通学経路に係る気象警報が発令された場合	気象警報が発令された日又は時間(※別添「気象警報発令時の授業の取扱いについて」による)	不要
⑥ 私傷病による場合	療養等が必要な期間	医師の診断書等
⑦ 天災その他予見できない事故による場合	必要な期間	罹災証明書又は事故証明書

気象警報発令時の授業の取扱いについて

気象警報が発令又は解除された場合の授業（講義）については、以下のとおり取扱うこととし、休講等する場合（可能性がある場合含む）は、大阪校事務若しくは授業開講校事務からその都度、メーリングリストによりメールにてお知らせする。なお、演習科目については、その都度、協議のうえ、対応することとする。

発 令 内 容：「暴風警報」及び「特別警報」

※その他の発令（大雨警報等）は該当しませんが、大雨による河川決壊や地震による交通遮断などの天災により、上記警報発令時同様に対応する可能性あり。

発 令 地 域：各校いずれかの地域（吹田市・金沢市・浜松市北部・千葉市・福井県）

※発令地域のほか、授業開講地、受講学生並びに規模・進路等により、その都度対応を協議する可能性あり。

確 認 方 法：発令及び解除の確認は、テレビ・ラジオ・インターネット等の報道による。

※例：12:00現在（時点）の発令が12:05に報道（発表）の場合は、12:00の内容で判断する。

授 業 の 取 扱 い：原則、12:00 現在（時点）で発令されている場合、当該日の5限目授業は休講とし、14:00 現在（時点）で発令されている場合、当該日の6限目授業は休講とする。
また、発令されていないところ、授業開始までに発令された場合は、当該日の授業は休講とする。

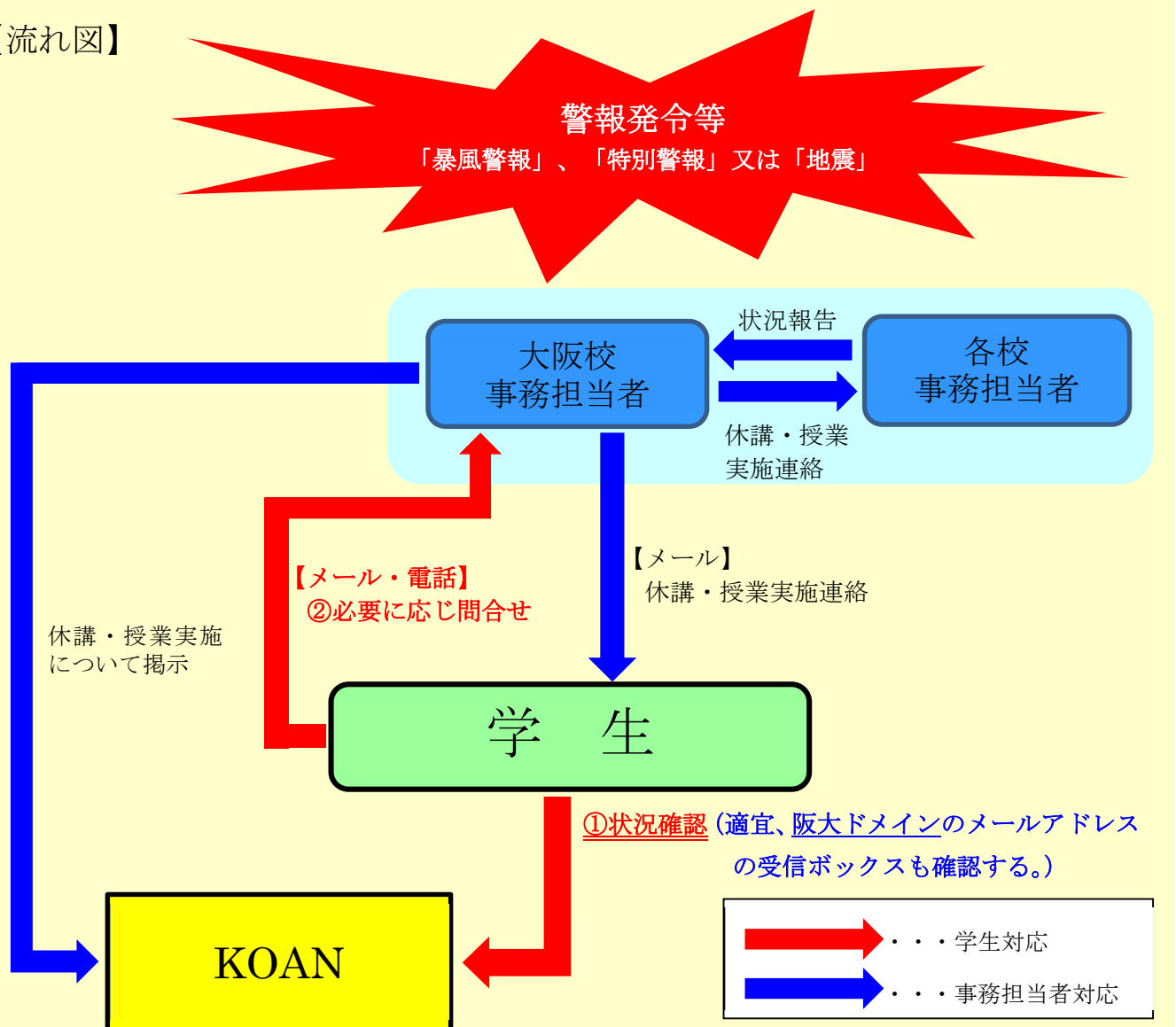
発令あり ～ 12:00 以前に解除された場合	→ 5, 6限目実施
発令あり ～ 12:00 を経過しても解除されない場合	→ 5 限目休講
発令あり ～ 14:00 を経過しても解除されない場合	→ 6 限目休講
発令なし ～ 16:20 以前に発令された場合	→ 5, 6 限目休講
発令なし ～ 16:20～18:00 に発令された場合	→ 5 限目終了後、6 限目休講

※各個人においては、報道等により情報確認のうえ、発令・解除並びに授業実施の有無に関わらず、移動の際は、十分気をつけるものとする。

気象警報等発表時の授業の取扱いについて（流れ図）

- 気象警報等が発表された場合、各校は大阪校に状況報告を行う。
- 大阪校は各校からの状況報告を把握のうえ、休講又は授業の実施について「KOAN」に掲載するとともに、学生にメール通知する。
- 学生は授業の実施について「KOAN」で確認する。必要に応じて大阪校事務担当者宛にメール又は電話にて問い合わせる。
- 授業等実施校で授業等が実施されるが、それ以外の校で受講できない場合は、後日 CLE で受講することにより「欠席」扱いとしない。
- 地震等の発生により、激甚な災害が生じ、鉄道及び道路が遮断され学生の通学が困難である場合、および警戒宣言が発令されるなど今後生じうる大規模災害への緊急の対応が必要と考えられる場合、「気象警報等発表時の授業の取扱いについて」により休講とする。
- 早朝の地震発生時や演習時に甚大な災害に遭遇した場合など、協議の余裕がない場合は、授業担当教員もしくは主担当教員が判断し、年度当初に配布する当該演習科目の受講者名簿に記載されているメールアドレス又は電話番号により学生に連絡する。

【流れ図】



研究発表会（公聴会）および学内外研究セミナーへの出席必須化について

概要： 2年次（秋～冬学期）における基礎特論科目の修了要件の1つとして、1年次から2年次における研究発表会（公聴会）および学内外研究セミナーへの出席を必須とする。

目的： 大学院学生が自分以外の研究に対しても目を向け、周辺領域に対しても広い知識を得るきっかけを作るとともに、当大学院内で行われている研究についての理解を深めること、及び学生が研究発表、質疑応答に関する技術を学ぶ機会を作ることとする。

【出席の証明について】

出席ごとに「研究発表会（公聴会）出席票兼発表内容要旨（別紙1）」または「研究セミナー出席票兼発表内容要旨（別紙2）」に発表内容要旨を記入し、出席の証明とする。

【出席票兼発表内容要旨について】

① **学生は**、研究発表会（公聴会）または研究セミナーに各「出席票兼発表内容要旨」を持参し、研究発表会（公聴会）については、「主査又は指導教員署名」欄に、研究セミナーについては、「セミナー企画者又は指導教員署名」欄に署名をもらう。完成した「出席票兼発表内容要旨」は指導教員に提出する。

② **指導教員は**、学生から提出のあった「出席票兼発表内容要旨」を保管のうえ、毎年度末にまとめて大阪校事務に提出する。

※要旨はワープロまたは手書きのものとする。（別紙にワープロ書きしたものを所定用紙の枠内に貼付しても可とする。）

※指導教員が署名する場合は、研究セミナー参加申し込みメール等の確認や学生からの報告等により、出席を確認する。

【必要枚数】

1年次～2年次の合計が、研究発表会（公聴会）及び研究セミナーとを合わせて2枚以上

なお、枚数の考え方は次のとおりとする。

- ・研究発表会（公聴会）：発表者1名に対して1枚。
- ・研究セミナー：発表者1名に対して1枚とするか、1つのセミナーに対して1枚とするかは、開催者または指導教員の判断に任せる。

※研究発表会（公聴会）の定義

本学連合小児発達学研究科で開催される学位申請のための研究発表会（公聴会）。

※研究セミナーの定義

教室、研究室等が公開を目的として企画したもので、企画者の出席印又は自分の指導教員の承認印を得ることが出来るもの。学内外で開催されたものを問わない。

【研究発表会（公聴会）】出席票兼発表内容要旨

学籍番号			主 査 又は 指導教員 署 名	
氏名				
出席年月日	年 月 日			
発表者氏名		発表者の所属		
演題名				
発表内容要旨：100字から600字以内程度で書くこと。 (別紙にワープロ書きしたものを以下の枠内に貼付しても構いません。)				

- 注1. この用紙は博士論文ごと（発表者ごと）に作成してください。
 2. 主査の署名をもらう場合は、予め出席の旨を主査に連絡のうえ、後日もらってください。
 3. 指導教員の署名をもらう場合は、研究発表会（公聴会）出席の事実について説明（参加申込書等、確認できるメール等があれば提示する）のうえ、もらってください。
 4. 発表内容要旨はワープロまたは手書きのものとします。

【研究セミナー】出席票兼発表内容要旨

学籍番号			セミナー企画者 又は 指導教員 署名	
氏名				
出席年月日	年 月 日			
発表者氏名		発表者の所属		
演題名				
発表内容要旨：100字から600字以内程度で書くこと。 (別紙にワープロ書きしたものを以下の枠内に貼付しても構いません。)				

注1. この用紙は研究セミナーごとに作成してください。
 2. セミナー企画者の署名をもらう場合は、研究セミナー開催日にもらってください（web開催の場合は後日でも可）。
 3. 指導教員の署名をもらう場合は、研究セミナー出席の事実について説明（参加申込書等、確認できるメール等があれば提示する）のうえ、もらってください。
 4. 発表内容要旨はワープロまたは手書きのものとします。

5. 学生留意事項

1. 授業料の納入について

- (1) 授業料の納入は、原則として全国銀行協会に加盟する銀行等及びゆうちょ銀行での口座振替としていきます。前期分は5月下旬、後期分は11月下旬に引き落とされます。
- (2) やむを得ず預金口座振替制度を利用できない者は、大阪大学指定口座への振込みにより納入してください。この場合の振込手数料は振込者負担となります。現金、郵便為替での窓口収納は取り扱いません。
- (3) 所定の時期までに納入を完了しない場合、本人及びその家族等に督促した後、当該年度中になお納入されない場合には、除籍となります。
- (4) 学費の支弁が困難な学生に対しては、本人の申請に基づき授業料の免除等を行うことがあります。

2. 授業料の免除等制度について

本学には、学部学生を対象とした高等教育修学支援制度と、高等教育修学支援制度の申請資格を満たさない一部の学部学生や大学院学生を対象とした大阪大学授業料免除等制度があります。各制度で定める申請資格に該当する場合は、これらの制度を申請することにより、授業料等の全部または一部の納入額が免除される（納入期限が猶予される）可能性があります。経済的理由や家庭の事情等により納入が困難な状況にあるときは、本学のホームページに掲載するこれらの制度の案内や情報をよく確認してください。なお、授業料（入学料）の免除等制度への申請を希望される場合には、所定の期限までに申請手続を行うようにしてください。授業料免除等の申請については、前期（4月から9月まで）分、後期（10月から翌年3月まで）分のそれぞれの期の授業料ごとに免除を決定します。

(1) 大学院学生の授業料（入学料）免除

以下の要件に該当する方は、大阪大学授業料等免除制度に申請することができます。詳細は大阪大学ホームページの情報を確認するようにしてください。

①経済的理由によって納入が困難である場合。

②授業料免除については、前後期各期の授業料の納入前6ヶ月以内（新入生に限り納入前1年以内）に、出願者の主たる学資負担者が死亡又は出願者本人もしくは出願者の主たる学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が困難であると認められる方。入学料免除については、入学前1年以内において、出願者の主たる学資負担者が死亡又は出願者本人もしくは出願者の主たる学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入が著しく困難である場合。

【申請方法等】

下記 URL または QR コードから Web ページにアクセスし、申請要項*を確認の上、所定の手続を申請期間内に行ってください。

（※前期：1月末日 後期：8月末日掲載予定）

＜大阪大学授業料免除等制度の申請方法等（申請要項・申請システム）＞

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/remission/system>



(2) 入学料収納猶予・授業料収納猶予・授業料分納

大阪大学授業料等免除制度が実施します。詳細は大阪大学ホームページの情報を確認するようにしてください。

【問い合わせ先】

吹田学生センター授業料免除担当（開館時間 平日 8:30～17:00）

☎：06-6879-7088・7161 ✉gakusei-sien-en1@office.osaka-u.ac.jp

3. 奨学金について

(1) 日本学生支援機構奨学金（外国人留学生を除く）について

日本学生支援機構（以下、「機構」という）奨学金は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないように支援する制度です。貸与奨学金は返還（返済）の義務があり、必ず返還しなければなりません。給付奨学金は原則として返還の義務はありません。

①貸与奨学金について

(2025 年 12 月時点)

奨学金の種類		貸与月額（「授業料後払い制度」は年額）	
大 学 院	第一種奨学金 （無利子）	博 士 前 期 （修 士） 課 程	50,000 円、88,000 円から選択
		授 業 料 後 払 い 制 度	年間の授業料相当額（年額 535,800 円上限）
		博 士 後 期 （博 士） 課 程	80,000 円、122,000 円から選択
	第二種奨学金 （有利子）	50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円 150,000 円から選択	

- （注 1）第二種奨学金は、貸与終了後に利子を附加した額を返還することになります。なお、貸与終了時に決定した利率を返還完了まで適用する方式と、貸与終了時から概ね 5 年ごとに利率を見直す方式のどちらか一方を選択できます。（いずれの方式も利率の上限は年 3 %）
- （注 2）大学院において第一種奨学金の貸与を受けた方で、在学中に特に優れた業績を挙げた方として認定された場合、奨学金の返還が免除される制度があります。
- （注 3）授業料後払い制度では、年間の授業料相当額の「授業料支援金」に加えて、月額 20,000 円又は 40,000 円の「生活費奨学金」の貸与を希望することができます。

【募集情報（大阪大学ウェブサイト）】

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/recruit>



② 申請方法等について

必要手続きや期限の詳細は、3 月末頃に本学ウェブサイトに掲載します。希望する奨学金でそれぞれ必要手続きが異なるため、上記「1」「2」に記載した URL または QR コードのページに掲載される所定の方法により期限までに手続きを行ってください。

【問い合わせ先】

豊中学生センター奨学金担当（豊中キャンパス学生交流棟 2 階）

《問合せフォーム（大阪大学ウェブサイト）》

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit



(2) 地方公共団体及び民間奨学団体奨学金（外国人留学生を除く）について

地方公共団体及び民間奨学団体による奨学金（以下、「各種奨学金」という。）は、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる方に給与もしくは貸与される制度です。学生センターで取り扱っている各種奨学金は、「候補者を選考し大学から推薦する奨学金」と「希望者が直接出願する奨学金」があります。

「候補者を選考し大学から推薦する奨学金」については、推薦人数に限りがあり、またそれぞれの団体での推薦基準があるため、必ずしも申請者全員が推薦候補者になるとは限りません。

また、奨学生に採用されると、在学中のみならず卒業後も団体との関係は続きます。大阪大学から推薦されたという自覚を持ち、向学心をさらに高め、交流会、面談、研修会への出席や、生活状況調書、成績表、奨学金受領書の提出など、奨学生としての義務を果たさなければなりません。これらの義務を怠った場合、辞退や採用取り消しとなる場合もありますので、十分に考慮の上、申請してください。

① 対象者 奨学金の種類により異なります。

② 申請方法

◆候補者を選考し大学から推薦する奨学金

大学からの推薦候補者は、登録者から選考します。

登録要項をダウンロードのうえ、要項で指定している受付期間内に申請してください。

詳細は、当該期の「民間団体等奨学生推薦候補者登録要項」（以下、「登録要項」）を参照してください。

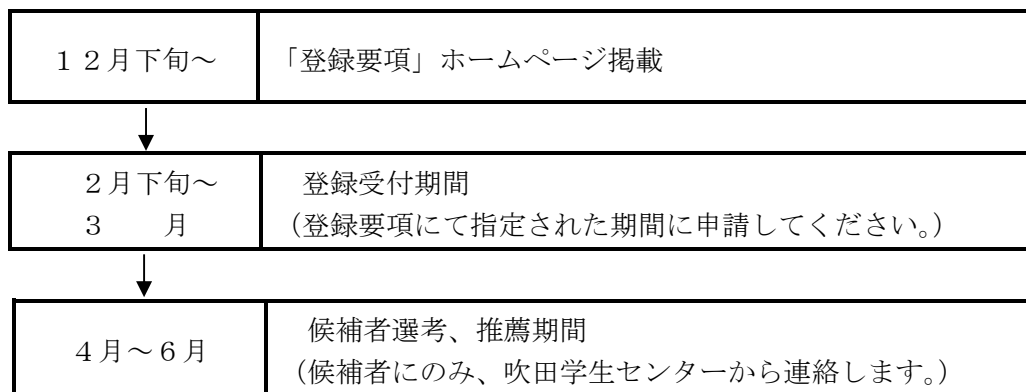
「登録要項」は、12 月下旬から、大阪大学ホームページよりダウンロードできます。下記 URL または QR コードから Web ページにアクセスしてください。

<地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金>

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/gov_n_private



推薦までの流れ



◆希望者が直接出願する奨学金

大学に募集案内があった場合、その都度KOAN掲示板にてお知らせします。

地方公共団体奨学金については、本学に募集案内が来ない場合があるので、直接、出身地等の教育委員会等へ照会してください。

【問い合わせ先】

吹田学生センター民間団体等奨学金担当 (開館時間 平日 8:30～17:00)

✉gakusei-sien-enl@office.osaka-u.ac.jp

4. 「学生教育研究災害傷害保険」等の各種保険について

①学生教育研究災害傷害保険（学研災）（必須）

学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、国内外における教育研究活動中に学生が被った「けが」に対して補償を提供するために設立された保険制度です。

大阪大学では、全ての対象者がこの保険に加入することとしています。加入がまだの方は、すぐに加入の手続きをとってください。

（1）対象

学部生、大学院生、研究生、聴講生及び科目等履修生（留学生を含む。）

（大学施設を単に利用するだけの研修生は対象となりません。ただし日本学術振興会特別研究員は対象となります。）

（2）保険金の内容

保険金が支払われる 事故の範囲	死亡保険金	後遺障害保険 金	医療保険金	入院加算金
正課中(授業、実験実習、演習等) 学校行事中	2,000 万円	程度に応じて 120 万円 ～3,000 万円	治療日数 1 日以上 が対象 3,000 円～30 万円	1 日につき 4,000 円
通学中 学校施設等相互間の移動 中 大学施設内（課外活動を除く）	1,000 万円	程度に応じて 60 万円 ～1,500 万円	治療日数 4 日以上 が対象 6,000 円～30 万円	1 日につき 4,000 円
公認団体が大学に届け出た学内外の課外活動中	1,000 万円	程度に応じて 60 万円 ～1,500 万円	治療日数 14 日以上 が対象 3 万円～30 万円	1 日につき 4,000 円

(平成 30 年 4 月以降)

(3) 加入方法及び請求方法

《加入方法》

専用サイトより手続きを行い、コンビニ払いまたはクレジットカード払いで支払いを行ってください。

https://osaka-univ.coop/welcome/grad-school/grad-school_808.html

なおいずれも接触感染予防保険金支払特約には対応していません。

※ 誤った金額を振り込まれた場合、加入手続きが取れず、この保険の対象となる「けが」であっても保険金の支払いができません。必ず、所属研究科及び学年に対応した金額を払い込んでください。

学年	連合小児	
	大学院 (前期・修士)	大学院 (後期・博士)
1	1,750	2,600
2	1,000	1,750
3		1,000

《事故の通知》

保険事故が発生したときは、ただちに事故の日時・場所・状況・傷害の程度を事故通知ハガキにより保険会社へ通知する必要があります。事故の日から30日以内に通知のない場合は、保険金が支払われないことがあります。

事故通知ハガキは、大学生協の保険窓口に取りに来てください。記入したハガキは、大学生協の保険窓口から保険会社へ送付します。

《保険金の請求》

請求に必要な書類は大学生協の保険窓口で渡します。記入・作成のうえ、大学生協の保険窓口に出してください。

②学研災付帯賠償責任保険 (A コース 学生教育研究賠償責任保険) (学研賠) (任意)

学研災付帯賠償責任保険学研災付帯賠償責任保険(学研賠)は、正課・学校行事中やインターンシップ(大学が承認したものに限り)・介護体験活動・教育実習・保育実習及びその往復中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことによる法律上支払わなければならない損害賠償金を補償する保険です。

学研賠へは、「学研災」へ先に加入していなければ、加入することができません。加入希望者は必ず「学研災」に加入していることを確認のうえ、専用サイトより手続きを行い、コンビニ払いまたはクレジットカード払いで支払いを行ってください。

https://osaka-univ.coop/welcome/grad-school/grad-school_808.html

③学研災付帯学生生活総合保険 (付帯学総) (任意)

学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)は、「学研災」への加入を条件として、学研災の補償内容に上乗せして補償される保険です。「学研災」ではカバーできない日常生活の病気やケガ、賠償事故の補償など幅広く補償されます。

留学生の方向けの、「インバウンド付帯学総」も用意されています。

詳細については、大阪大学ホームページを参照ください。

＜新規来日された留学生の方へ＞

大阪大学で安心安全に学べる環境を整えるために、外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）の加入を強くお勧めします。

最近、留学生が自転車で走行中、通行人にぶつかってけがを負わせ、多額の賠償金を請求されたものの保険に入っておらず大きな問題となったケースがありました。個人賠償責任のほか、示談交渉サービスも付いており、学生生活を幅広くサポートする保険です。

To all incoming international students,

In order to provide a secure and safe learning environment at the University of Osaka, we strongly recommend that you enroll in Comprehensive Life Insurance, informally known as Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with "Gakkensai" (Inbound Comprehensive Insurance).

Recently, a case where an uninsured international student riding a bicycle collided with a pedestrian caused injuries that resulted in a substantial compensation claim against the student. The Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with "Gakkensai" (Inbound Comprehensive Insurance) includes personal liability coverage and provides out-of-court settlement negotiation services if you become liable for such claims, effectively supporting many aspects of your life in Japan.

④大学生協「CO・OP 学生総合共済」「学生賠償責任保険」（任意）

大学生協「CO・OP 学生総合共済」は、大学生協（大阪大学生生活協同組合）が提供する、正課中、外を問わず、学生生活においてケガや病気の際、保障する制度です。「学生賠償責任保険」は、大学生活における様々な「賠償責任事故」に対する保障、一人暮らしの“もしも”に備える「一人暮らし特約あり」で、大学生活を強力にサポートする保険です。

詳細については、大阪大学ホームページを参照ください。

【窓口及び問い合わせ先】

（１）①，②，④の保険関係

- ・大阪大学 生活協同組合 総務部（豊中福利会館４階） 06-6841-3326
- ・豊中生協事務所 （豊中キャンパス豊中福利会館４階）
- ・吹田工学部生協事務所 （吹田キャンパスセンテラス２階）
- ・箕面生協事務所 （箕面キャンパス外国学研究講義棟３階シャンティショップ内）

③の保険関係

- ・東京海上日動あんしんコンサルティング株式会社
学生生活総合保険相談デスク 0120-811-806
受付 土日祝を除く 9:30～17:00 まで
(IP 電話からは 03-6629-5258)

（２）大阪大学ホームページ

日本語：<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/life/insurance.html>

English：<https://www.osaka-u.ac.jp/en/campus/life/insurance.html>

５．定期健康診断等について

大阪大学の全学生は、毎年必ず定期健康診断を受診し、健康診断証明書を事務所に提出する必要があります。定期健康診断や健康相談等は、配属された大学の保健管理センター等で行いますので、必ずご確認ください。

６．附属図書館の利用について

学生は、大阪大学附属図書館の他、配属された大学の附属図書館を、当該大学の学生と同様に利用することができます。詳細については、各大学の附属図書館にお問い合わせください。

7. 学生証について

学生証は2年間有効ですので、大切に取り扱い、常に携帯してください。破損・紛失した場合には再発行の手続きが必要です。大阪大学教育・学生支援部教育企画課学務情報係（06-6879-7105）へ申し出てください。

学生証は、大阪大学附属図書館の入館証を兼ねています。

8. 学籍等の変更について

学籍変更がある場合は、教授会等での承認が必要です。下記を参照し、異動日の1月以上前に配属校の担当窓口で手続きを行ってください。

（例：4月からの学籍異動の申請は2月末まで/10月からの学籍異動の申請は8月末までに行う）

変 更 内 容	提出書類
疾病その他やむを得ない事由により3月以上修学できない場合	休学願
休学期間中に休学理由が解消し、履修を再開する場合	復学願
退学（単位修得退学を含む）する場合	退学願

※様式は、本研究科ホームページからもダウンロードできます。

(1) 休学

病気その他やむを得ない事由により3か月以上修学できない場合、その学年の終わりまで休学することができます。疾病・負傷により休学する場合は、医師の診断書が必要です。

- ・休学期間は在学期間には算入されません。
- ・許可された休学期間が学期の途中からである場合は、その学期または学年に開講している授業科目を履修することは認められず、単位の修得が不可能となりますので、十分注意してください。
- ・2年の期間を超えて休学することはできません。
- ・前期は5月以降、後期は11月以降に休学の申請をする場合は、その期に属する授業料を全額納めておく必要があります。なお、納入済みの授業料は返還できません。
- ・年度を越えて休学はできませんので、年度を越えて休学を希望する場合は、改めて「休学願」を指定の期限までに提出してください。
- ・休学期間終了後は、自動的に復学となり、授業料が発生します。

(2) 復学

休学許可期間中に休学理由が解消し、履修を再開する場合、復学することができます。疾病・負傷により医師の診断書に基づき休学を許可された者は、復学しても支障ない旨の「医師の診断書」を添えて願い出てください。

- ・学期の途中で復学する場合は、その学期の授業料は徴収されます。

(3) 退学

退学を希望すれば、退学することができます。

- ・学期の途中で退学する場合は、その学期の授業料は徴収されます。

(4) 留学、海外渡航

留学を希望する場合は、教授会での承認が必要です。2月以上前までに願い出てください。

なお、本学では学生の交流協定を締結している外国の大学があり、授業料不徴収の取り決めを交わしている場合があります。この場合は、1年以内の留学であれば留学先の大学で授業料を納めなくてもよいことがあります。ただし、人数や期間に制限があり募集時期も限られるので、早めに大阪大学医学系研究科総務課連合研究科担当へ相談してください。（協定校は、大阪大学のホームページ参照）

海外へ渡航する学生は、期間、内容に関わらず、必ず海外渡航届を所属校事務へ提出してください。

また、海外渡航時には、たびレジやOSSMAを利用するようにしてください。

9. 指導教員変更願について

研究内容の変更等により、指導教員及び所属講座・研究領域を変更したい場合は、旧指導教員・新指導教員に変更及び受入の承諾を得た上で、変更希望日の1月以上前に配属校の担当窓口で手続きを行ってください。

10. 各種証明書の発行について

各種証明書の発行については、大阪大学医学系研究科総務課連合研究科担当に申し出てください。

なお、受け取りについては、配属校の担当窓口の他、指定先への郵送も可能です。（要返信用封筒）

また、学割については、配属校の担当窓口にて発行いたします。

※学割は、片道の営業キロが100キロメートルを超える区間を利用の場合に使用できます。

11. 身上変更届について

氏名・住所・電話番号・緊急連絡先等が変更になった場合には、まず KOAN で変更入力をしたうえで、配属校の担当窓口へ届け出てください。（氏名変更については、変更の事実を証明できるものが必要）

12. 学生メールアドレスの付与と掲示・連絡について

学生メールアドレスが各学生に付与され、大阪大学ポータルサイトにアクセスして利用することができます。学生への掲示・連絡は、この学生メール及び KOAN 掲示板、又は各配属校に置かれる学生掲示板により行われます。必ず学生メール及びこれら掲示板を見る習慣をつけてください。メールや掲示を見落としたために生じる不都合・不利益は学生自身の責任となります。

また、連合研究科からの連絡事項や講義資料の配付、休講情報等も学生メールアドレス宛に送信するメールによりお知らせしますので、留意してください。

13. 学生相談体制について

本研究科では、学生生活における修学上の相談、生活上の悩み、健康上（からだところ）の問題などいろいろな悩みをお聞きし、一緒に考え、少しでもよい解決につながることを目指し、「学生相談体制」を整えています。相談方法や、相談員・連絡先等の詳細は、入学ガイダンス時やメール、本研究科ホームページにてお知らせします。

1 4. 成績評価に対する異議（疑義）申し立てについて

学生から成績評価に対して異議（疑義）の申し立てができる取扱いを整備しています。必要があれば下記により手続きください。

連合小児発達学研究科における成績評価に対する異議（疑義）申し立ての取扱い

学生から成績評価に対して異議（疑義）の申し立てができることとし、以下のとおり取り扱うこととする。

- ① 大阪校事務から各科目主担当教員へ成績評価提出依頼
 - ② 各科目主担当教員から他の担当教員へ確認、取りまとめのうえ、大阪校事務に報告
 - ③ KOAN に登録し、学生に成績公表した旨通知
その際、異議（疑義）があれば、「成績異議（疑義）申立書」（以下様式）を提出するよう通知（期限を付す）
 - ④ 学生から大阪校事務に対して「成績異議（疑義）申立書」提出
 - ⑤ 大阪校事務から教務担当教員へ報告し、対応確認（科目主担当教員に照会するか等）
 - ⑥ 大阪校事務から科目主担当教員に照会、確認（科目主担当教員から必要に応じ他の担当教員に確認）
 - ⑦ 科目主担当教員から大阪校事務に回答
 - ⑧ 大阪校事務から教務担当教員へ報告し、対応確認（成績変更等を含む、学生への回答内容等）
 - ⑨ 大阪校事務から該当学生へ連絡
 - ⑩ 必要に応じ成績変更等対応
-

連合小児発達学研究科 成績評価異議（疑義）申立書

提 出 先:大阪校事務(郵送・メール可)

提出期限: 年 月 日 () 厳守

※成績公表通知の際に期限を設定

配属校・研究領域 :

学籍番号・氏名 :

連絡先(電話及びアドレス):

下 記 の と お り、成 績 内 容 に つ い て 異 議（ 疑 義 ）を 申 し 立 て ま す。

記

授業科目名:

担当教員名:

申 立 内 容 :

※担当教員等に照会、確認のうえ、後日、大阪校事務より回答しますので、できる限り具体的に記載ください。

年 月 日

休 学 願

大阪大学大学院
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科長 殿

年度入学（学籍番号： ）	
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程 研究領域 講座 年次	
フリガナ 本人氏名 (自署または押印)	
住 所	〒 Tel ()
緊急連絡先 氏 名 (自署または押印)	
住 所	〒 Tel ()

私こと、下記理由により休学したいので御許可くださるようお願いします。
(病気による場合は、診断書を添えて提出すること。)

記

休学の理由

休学の期間 年 月 日から

年 月 日まで ヶ月間

指導教員 (自署または押印)	
-------------------	--

※既休学期間

ヶ月

※授業料納入確認

年 月 日 確認者 印

年 月 日

復 学 願

大阪大学大学院
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科長 殿

年度入学（学籍番号： ）	
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程 研究領域 講座 年次	
フリガナ 本人氏名 (自署または押印)	
住 所	〒 TEL ()
緊急連絡先 氏 名 (自署または押印)	
住 所	〒 TEL ()

私こと、休学中のところ下記理由により復学したいので、御許可くださるようお願いします。
(病気による場合は、診断書を添えて提出すること。)

記

理 由

復学希望年月日 年 月 日

指導教員 (自署または押印)	
-------------------	--

※既休学期間

年 月 日 ～ 年 月 日

大 阪 大 学 総 長 殿

年度入学（学籍番号： ）	
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程 研究領域 講座 年次	
フリガナ 本人氏名 (自署または押印)	
住 所	〒 TEL ()
緊急連絡先 氏 名 (自署または押印)	
住 所	〒 TEL ()

退 学 願

私こと、下記理由により退学したいので、御許可くださるようお願いします。

記

1. 退学理由（具体的に記入すること。就職の場合はその旨を記入のこと。なお、博士後期課程を単位修得退学の場合は、その旨及び就職先を併記すること。）

2. 退学希望年月日 年 月 日

注）・退学理由が「病気」である場合、診断書を添付すること。

○奨学援助等の有無 授業料の免除申請 : (有 ・ 無)
奨学金の貸与・給与 : (有 ・ 無)
日本学生支援機構奨学金 : (有 ・ 無)
T. A 又は R. A : (有 ・ 無)

注）・奨学金の貸与・給与をうけている場合は、学生センターで手続きしてください。
・学期の途中で退学する場合、その学期の授業料を納付しておくこと。

指導教員 (自署または押印)	
-------------------	--

	日 付	担当者
授業料納付確認		
学生異動登録		

年 月 日

留 学 願

大阪大学大学院
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科長 殿

年度入学（学籍番号： ）	
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程 研究領域 講座 年次	
フリガナ 本人氏名 (自署または押印)	

私こと、下記のとおり留学したいので御許可くださるようお願いいたします。
なお、留学期間中における大阪大学への授業料の納入を怠りませんことを誓約いたします。

記

留学先		指導教員名	
留学の期間	年 月 日から 年 月 日まで	ヶ月間	経費等
留学の理由 及び 研究内容			
留学先での 連絡先	住所 Tel e-mail Fax		
日本での 連絡先	(〒 -) Tel () Fax ()		

指導教員 (自署または押印)	
-------------------	--

※既留学期間 ヶ月

海外渡航届

※印の項目は記入必須

記入日： 20 年 月 日

※所属部局	連合小児発達学研究科	※所属校	
※所属領域	領域	※指導教員	
※氏名		※学籍番号	
※海外滞在中のメールアドレス		海外滞在中の電話番号	
※期間	～		
※国名		※地域名	
滞在先機関名			
留学(研修)プログラム名			
在留届の提出有無 (3か月以上の場合)	有 / 無	※たびレジ登録	済 / 未
※出国予定日	20 年 月 日	便名	
※出発地		到着地	
※帰国予定日	20 年 月 日	便名	
※出発地		到着地	
※国内緊急連絡先1 (※電話番号は、携帯番号など、必ず連絡のとれる番号を記入してください)			
※氏名		※続柄	
※電話番号		メールアドレス	
※住所			
国内緊急連絡先2 (※電話番号は、携帯番号など、必ず連絡のとれる番号を記入してください)			
氏名		続柄	
電話番号		メールアドレス	
住所			

◎【たびレジ】が未登録の場合は、出国までに必ず登録してください。

◎ 複数国に渡航する場合は全ての渡航先を記入してください。

【提出先】

配属校事務および大阪大学連合小児発達学研究科担当

大阪校メールアドレス: i-soumu-rengousyouni@office.med.osaka-u.ac.jp

指 導 教 員 変 更 願

大阪大学大学院
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科長 殿

年度入学（学籍番号： ）	
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程 研究領域 講座 年次	
フリガナ 本人氏名 (自署または押印)	

下記のとおり指導教員を変更したいので、許可くださるようお願いします。

記

(旧) 講座・研究領域名	➡	(新) 講座・研究領域名
講座 研究領域		講座 研究領域
(旧) 指導教員名		(新) 指導教員名

変 更 理 由	
変更後の研究テーマ	
許 可 希 望 年 月 日	年 月 日

(旧) 指導教員 自署または押印	(新) 指導教員 自署または押印

証 明 書 交 付 願

大阪大学大学院
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科長 殿

年度入学（学籍番号： ）			
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程		講座 研究領域	
フリガナ 本人氏名		英字氏名	
生年月日	年 月 日	メールアドレス	
住 所	〒 Tel ()		

下記のとおり証明書の発行を申請します。

記

必要理由： _____

提 出 先： _____

必要な証明書（□にチェック）		種 類	必要部数	備 考 (厳封封筒希望の場合はここに記入)
大 学 院 生	☐ 在学証明書	和文・英文		
	☐ 成績証明書	和文・英文		
	☐ 修了見込証明書	和文・英文		
	☐ 修了証明書	和文・英文		
	☐ 在学期間証明書	和文・英文		
	☐ 単位修得退学証明書	和文・英文		
	☐ 退学証明書	和文・英文		
	☐ 学位授与証明書	和文・英文		
	☐ その他	和文・英文		
研 究 生	☐ 在学証明書	和文・英文		
	☐ 在学期間証明書	和文・英文		
	☐ その他	和文・英文		

◎受領方法： ☐ 窓口で受け取る（☐ 大阪校 ☐ 金沢校 ☐ 浜松校 ☐ 千葉校 ☐ 福井校）
☐ 郵送希望（返信用切手を貼付した返信用封筒を同封のうえ申請してください。厳封封筒希望の場合は、長3封筒が入る封筒（返信用切手貼付）を同封してください。）

【申請先】大阪大学医学系研究科総務課 連合研究科担当
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2
T E L : 06-6879-3026 FAX : 06-6879-3347
Email : Email : i-soumu-rengousyouni@office.osaka-u.ac.jp

※処理欄	交付日	年 月 日	専門職員	担当者
備考				

身 上 変 更 届

大阪大学大学院
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科長 殿

年度入学（学籍番号： ）	
小児発達学専攻 博士前期課程 ・ 博士後期課程 講座 研究領域 年次	
フリガナ 本人氏名 (自署または押印)	

私こと，下記のとおり変更しましたのでお届けします。

記

変更事項	旧	新
フリガナ		
氏 名		
住 所	〒 —	〒 —
電 話 番 号		
フリガナ		
緊急連絡先氏名		
住 所	〒 —	〒 —
電 話 番 号		

※改姓（改名）には戸籍謄本のコピーを添付してください。

6. 各種教育プログラムについて

■大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムについて

大阪大学では、大学院教育における高度教養教育の更なる展開に向けて導入された「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture, DWAA)」を推進しており、その一環として、大学院に入学した学生を中心に、学生が所属する主専攻の教育課程以外の教育プログラムを履修できる「**大学院副専攻プログラム**」、「**大学院等高度副プログラム**」を提供しています。

「主専攻の学修と並行して、用意されたプログラム科目を効果的に受講することで、学際的・俯瞰的な視点や複眼的視野を養うことを目的としています。

どちらのプログラムも、教育目標に沿った一定のまとまりのある授業科目で構成されており、各プログラムが定める要件を満たすことで、当該プログラムの修了認定証が交付されます。

なお、2026年度は「大学院副専攻プログラム」24プログラム、「大学院等高度副プログラム」51プログラムが実施されます。

また、「大学院等高度副プログラム」のうち、一部のプログラムは「**大学院科目等履修生高度プログラム**」として、社会人に対しても提供されています。

各プログラムの詳細については、以下の URL もしくは QR コードからご参照ください。

※大学院の新入生にはプログラムのパンフレットを別途配布します。

詳細については QR コードからご参照ください。

<https://itgp.osaka-u.ac.jp/program/program-category/fukupro/>



■高度教養モジュールについて

高度教養モジュールとは、特定のテーマについて学修する機会を提供するため、従来の大学院副専攻プログラムや大学院等高度副プログラムより要件単位数を減らしつつも、科目間に関連付けを持たせた科目群制度です。副専攻プログラム・高度副プログラム履修の第一歩として大学院生の皆さんの履修をお待ちしております。

詳細については QR コードからご参照ください。

<https://itgp.osaka-u.ac.jp/program/program-category/module/>



■学際融合教育科目について

本学における横断型教育（学部・研究科の枠を超えた学び）の、より一層の充実を目指して、複眼的視野を涵養するための授業科目として「**学際融合教育科目**」を設置しています。

学際融合教育科目は、全学の大学院学生に開講していますので、興味のある方は是非履修してみてください。

※学際融合教育科目は、大学院横断教育科目の科目区分の一つとして開講しています。

詳細については、それぞれのシラバスを参照してください。

※履修登録は、全学で統一された「他部局科目の履修登録期間」内に KOAN（学務情報システム）から行って

ください (<https://koan.osaka-u.ac.jp>)。

※大学院横断教育科目の単位認定についての取り扱いは、研究科によって対応が異なります。修了要件への算入可否については、事前に指導教員や所属研究科の教務担当窓口を確認してください。

詳細については、QR コードからご参照ください。

https://itgp.osaka-u.ac.jp/program/advanced_5939/



コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目について

■教育プログラムの目的

大阪大学は、高等教育における新しい教育の目標として〈高度汎用力〉の育成を掲げています。CO デザインセンターは人をつなぎ、知識をつなぎながら、ともに創出する力を身につけるための学部・研究科横断型の新しい高度教養・高度汎用力育成プログラムの研究開発と教育にあたっています。

「コミュニケーションデザイン科目」は、対話することを通して、課題を発見し、ともにその解決をめざし、社会のなかで実践するための基礎的な教育プログラムとして学部生、大学院生を対象に開講されています。

また、「CO デザイン科目」は、さまざまな現実の社会課題の解決を目指したアドバンスト・プログラムとして、より系統的に社会実践力を修養するための科目群として大学院学生を対象に開かれています。

■コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目の修得単位について

コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目が修了要件単位に算入できるか否かについては、各研究科によって取り扱いが異なりますので、履修に際しては、事前に指導教員や所属研究科の教務担当窓口に必ず相談してください。

■履修手続方法について

コミュニケーションデザイン科目とCOデザイン科目の履修登録は、全学で統一された「他部局科目の履修登録期間」内にKOAN(学務情報システム)から行ってください。

(<https://koan.osaka-u.ac.jp>)

7. 各種メーリングリスト等一覧

授業科目（導入）	時間割コード	メーリングリストアドレス	備考
生命倫理学M	775004	774004@office.med.osaka-u.ac.jp	※履修登録中の科目MLが届きます。
研究基礎技法M	775005	775005@office.med.osaka-u.ac.jp	
神経薬理学1 M	775020	774020@office.med.osaka-u.ac.jp	
神経薬理学2 M	775021	774021@office.med.osaka-u.ac.jp	
行動情動神経科学1 M	775022	774022@office.med.osaka-u.ac.jp	
行動情動神経科学2 M	775023	774023@office.med.osaka-u.ac.jp	
臨床遺伝学M	775024	774024@office.med.osaka-u.ac.jp	
発達分子生物学M	775025	774025@office.med.osaka-u.ac.jp	
神経社会環境学M	775026	774026@office.med.osaka-u.ac.jp	
基礎神経科学M	775027	774027@office.med.osaka-u.ac.jp	
発達基礎神経科学M	775028	775028@office.med.osaka-u.ac.jp	
小児発達医学1 M	775030	774030@office.med.osaka-u.ac.jp	
小児発達医学2 M	775031	774031@office.med.osaka-u.ac.jp	
児童精神医学1 M	775032	774032@office.med.osaka-u.ac.jp	
児童精神医学2 M	775033	774033@office.med.osaka-u.ac.jp	
疫学統計学1 M	775034	774034@office.med.osaka-u.ac.jp	
疫学統計学2 M	775035	774035@office.med.osaka-u.ac.jp	
運動機能制御学1 M	775036	774036@office.med.osaka-u.ac.jp	
運動機能制御学2 M	775037	774037@office.med.osaka-u.ac.jp	
機能画像解析学1 M	775038	774038@office.med.osaka-u.ac.jp	
機能画像解析学2 M	775039	774039@office.med.osaka-u.ac.jp	
発達臨床心理学1 M	775040	774040@office.med.osaka-u.ac.jp	
発達臨床心理学2 M	775041	774041@office.med.osaka-u.ac.jp	
小児発達評価学M	775042	774042@office.med.osaka-u.ac.jp	
小児発達療育学M	775043	774043@office.med.osaka-u.ac.jp	
小児保健学M	775044	774044@office.med.osaka-u.ac.jp	
認知行動療法学1 M	775046	774046@office.med.osaka-u.ac.jp	
認知行動療法学2 M	775047	774047@office.med.osaka-u.ac.jp	
社会支援学M	775048	774048@office.med.osaka-u.ac.jp	
教育発達支援学M	775049	774049@office.med.osaka-u.ac.jp	
ストレスチェック学校保健学M	775051	774050@office.med.osaka-u.ac.jp	
インストラクショナルデザイン研究M	775052	775052@office.med.osaka-u.ac.jp	
発達教育心理学M	775053	775053@office.med.osaka-u.ac.jp	

学生メーリングリスト	アカウント	メーリングリストアドレス	備考
学生ML(M1)	ugscd-m1	ugscd-m1@office.med.osaka-u.ac.jp	※学 年 確 別 、 所 属 校 だ 毎 さ に 届 き ま す。
学生ML(M2)	ugscd-m2	ugscd-m2@office.med.osaka-u.ac.jp	
【大阪】学生ML (M1)	ugscd-o-m1	ugscd-o-m1@office.med.osaka-u.ac.jp	
【大阪】学生ML (M2)	ugscd-o-m2	ugscd-o-m2@office.med.osaka-u.ac.jp	
【金沢】学生ML (M1)	ugscd-k-m1	ugscd-k-m1@office.med.osaka-u.ac.jp	
【金沢】学生ML (M2)	ugscd-k-m2	ugscd-k-m2@office.med.osaka-u.ac.jp	
【浜松】学生ML (M1)	ugscd-h-m1	ugscd-h-m1@office.med.osaka-u.ac.jp	
【浜松】学生ML (M2)	ugscd-h-m2	ugscd-h-m2@office.med.osaka-u.ac.jp	
【千葉】学生ML (M1)	ugscd-c-m1	ugscd-c-m1@office.med.osaka-u.ac.jp	
【千葉】学生ML (M2)	ugscd-c-m2	ugscd-c-m2@office.med.osaka-u.ac.jp	
【福井】学生ML (M1)	ugscd-f-m1	ugscd-f-m1@office.med.osaka-u.ac.jp	
【福井】学生ML (M2)	ugscd-f-m2	ugscd-f-m2@office.med.osaka-u.ac.jp	

●各校事務連絡先

大阪大学

所 在 地 : 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2
 担 当 部 局 : 大阪大学 医学系研究科総務課連合研究科担当
 問い合わせ先 : (TEL)06-6879-3026, 3445 (FAX)06-6879-3447
 Email : i-soumu-rengousyouni@office.osaka-u.ac.jp

金沢大学

所 在 地 : 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1
 担 当 部 局 : 金沢大学 医薬保健系事務部学生課医学学務係 (大学院担当)
 問い合わせ先 : (TEL)076-265-2811 (FAX)076-234-4208
 Email : t-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp

浜松医科大学

所 在 地 : 〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山1丁目20-1
 担 当 部 局 : 浜松医科大学 学務課大学院係
 問い合わせ先 : (TEL)053-435-2204 (FAX)053-435-2233
 Email : daigakuin@hama-med.ac.jp

千葉大学

所 在 地 : 〒280-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
 担 当 部 局 : 千葉大学 亥鼻地区事務部学務課 大学院係
 問い合わせ先 : (TEL)043-226-2009 (FAX)043-226-2502
 Email : sah5234@office.chiba-u.jp

福井大学

所 在 地 : 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
 担 当 部 局 : 福井大学 学務部松岡キャンパス学務課 教務 (医学) 担当
 問い合わせ先 : (TEL)0776-61-8247 (FAX)0776-61-8162
 Email : m-kyomu@ml.u-fukui.ac.jp

8. 教 員 名 簿

研 究 科 長 教 授 片 山 泰 一

こころの発達神経科学講座(大阪大学)

教 授	片 山 泰 一
教 授	下 野 九 理 子
教 授	木 村 亮
教 授	毛 利 育 子
教 授	橘 雅 弥
特任教授	今 泉 和 則
准 教 授	西 村 倫 子
准 教 授	山 田 貴 志
特任准教授(常勤)	Norhamizan Binti Hamzah
講 師	岡 雄 一 郎
講 師	岩 谷 祥 子
助 教	山 本 知 加
助 教	藤 原 悠 紀
助 教	平 田 郁 子
助 教	早 川 英 規
特任助教(常勤)	栗 田 幸 平

(兼任教員他)

医学系研究科 教 授	北 畠 康 司
医学系研究科 教 授	高 橋 正 紀
医学系研究科 教 授	山 崎 あ け み
歯学研究科 教 授	田 熊 一 徹
医学系研究科 准 教 授	山 本 賢 一
医学系研究科 准 教 授	川 原 妙

人文学研究科 准 教 授	小 門 穂
人間科学研究科 准 教 授	平 井 啓
人間科学研究科 准 教 授	藤 野 陽 生
歯学系研究科 准 教 授	早 田 敦 子
キャンパスライフ健康支援・相談センター 准 教 授	望 月 直 人
医学系研究科 助 教	磯 野 萌 子
医学系研究科 特任助教	橘 真紀子
医学部附属病院小児医療センター チャイルドライフスペシャリスト	馬 戸 史 子
名古屋外国語大学 教 授	上 田 功
兵庫県こころのケアセンター 研究主幹	酒 井 佐枝子
京都女子大学現代社会学部 教 授	霜 田 求
森ノ宮医療大学 教 授	松 崎 伸 介
特定医療法人愛仁会太田総合病院記念研究所 附属診療所太田睡眠科学センター医長	加 藤 久 美
公益社団法人母子推進会議 会 長	佐 藤 拓 代
遊育園こどもクリニック 院 長	楠 木 重 範
神戸親和大学文学部心理学科 教 授	椎 野 智 子
福井医療大学保健医療学部看護学科 教 授	猪 口 徳 一
鳥取大学医学部保健学科 教 授	吉 村 武
大阪府立病院機構大阪母子医療センター 副院長	和 田 和 子
医療法人社団 木野記念会福田西病院 副理事長(研究教育担当)	佐 藤 真
大阪府立病院機構大阪母子医療センター 母子保健調査室長	馬 場 幸 子
国立病院機構大阪医療センター 小児科長	青天目 信
名古屋大学大学院医学研究科 教 授	和 氣 弘 明
遊育園こどもクリニック 副院長	吉 田 寿 雄
北海道教育大学教育学部札幌校 准 教 授	中 山 祐 一
東北大学大学院国際文化研究科 准 教 授	岩 渕 俊 樹
びわこリハビリテーション専門職大学言語聴覚療法学科 講 師	加 藤 陽 子

富山大学学術研究部医学系 講 師	安 村 美 里
京都大学大学院医療倫理学分野 講 師	古 結 敦 士
公益社団法人子どもの発達科学研究所 浜松オフィス 首席研究員	和久田 学
早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部 助 教	平 田 郁 絵

こころの相互認知科学講座(金沢大学)

(専任教員)

教 授	太 田 英 伸
教 授	小 林 宏 明
教 授	荒 木 友希子
教 授	吉 村 優 子
准 教 授	堀 家 慎 一
准 教 授	藤 田 慶 大
准 教 授	池 田 尊 司
助 教	田 中 早 苗
助 教	辻 知 陽
助 教	長谷川 千 秋
助 教	奥 村 栄 一

(兼任教員他)

医薬保健研究域医学系 教 授	堀 修
医薬保健研究域医学系 教 授	三 枝 理 博
医薬保健研究域医学系 教 授	菊 知 充
人間社会研究域人間科学系 教 授	小 島 治 幸
疾患モデル総合研究センター 教 授	大 黒 多希子
医薬保健学総合研究科 特任教授	廣 澤 徹
人間社会研究域人文学系 准 教 授	村 山 恭 朗

疾患モデル総合研究センター 准 教 授	北 村 陽 二
疾患モデル総合研究センター 助 教	小 阪 孝 史
子どものこころの発達研究センター 特任教授	横 山 茂
子どものこころの発達研究センター 客員教授・平谷こども発達クリニック院長	平 谷 美智夫
子どものこころの発達研究センター 客員教授・金沢市保健局 担当局長 金沢市保健所長	越 田 理 恵
安田女子大学心理学部現代心理学科 教 授	齋 藤 大 輔
帝京大学文学部心理学科 講 師	矢 追 健
人間社会研究域 客員研究員	村 中 達 矢
ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 プレクリニカルリサーチサービスセンター長	吉 原 亨
コミュ障ラボ代表	大 井 学
社会福祉法人暁光会 特別養護老人ホーム アルプス理事長	東 田 陽 博

こころの発達健康科学講座(浜松医科大学)

(専任教員)

教 授	土 屋 賢 治
教 授	千 住 淳
講 師	山 下 雅 俊
助 教	原 田 妙 子
助 教	奥 村 明 美
助 教	川 上 澄 香
助 教	須 田 桃 香
助 教	長 田 アビル
助 教	水 谷 柳 子
助 教	入 口 真夕子
助 教	猪 原 裕 子
助 教	大 森 侑 香

(兼任教員他)

光医学総合研究所
生体機能イメージング研究室 教授

尾 内 康 臣

精神医学講座
教 授

山 末 英 典

児童青年期精神医学講座
特任教授

高 貝 就

子どものこころの医学講座
特任教授

島 田 隆 史

子どものこころの医学講座
特任准教授

児 島 正 樹

精神科神経科
講 師

和久田 智 靖

精神医学講座
助 教

横 倉 正 倫

精神医学講座
助 教

亀 野 陽 亮

光医学総合研究所
生体機能イメージング研究室 助教
客員教授

平 石 博 敏

野 村 容 子

客員教授

高 橋 長 秀

客員准教授

涌 澤 圭 介

こころの認知行動科学講座(千葉大学)

(専任教員)

教 授

平 野 好 幸

教 授

大 溪 俊 幸

教 授

大 島 郁 葉

助 教

関 陽 一

助 教

田 口 佳代子

助 教

ブーサル
チャタクリ リトゥ

助 教

吉 田 斎 子

助 教

池 水 結 輝

(兼任教員他)

医学研究院 認知行動生理学
教 授

清 水 栄 司

医学研究院 小児病態学 教 授	濱 田 洋 通
教育学部 教 授	花 澤 寿
子どものこころの発達教育研究センター 特任教授	堀 清 一 郎
子どものこころの発達教育研究センター 客員教授	杉 田 克 生
子どものこころの発達教育研究センター 客員教授	伊 藤 絵 美
子どものこころの発達教育研究センター 客員教授	小 畠 隆 行
子どものこころの発達教育研究センター 客員教授	松 澤 大 輔
子どものこころの発達教育研究センター 客員教授	杉 山 尚 子
子どものこころの発達教育研究センター 特任准教授	野 田 義 和
	佐々木 剛
子どものこころの発達教育研究センター 客員准教授	浦 尾 悠 子
医学研究院 認知行動生理学 講 師	沼 田 法 子
医学研究院 認知行動生理学 助 教	廣 瀬 素 久
子どものこころの発達教育研究センター 特任助教	加 藤 奈 子
子どものこころの発達教育研究センター 特任助教	大 田 淳 子
子どものこころの発達教育研究センター 特任助教	久 能 勝
国際高等研究基幹 特任助教	磯 部 祐 子
国際高等研究基幹 特任助教	江 藤 愛 子

こころの形成発達科学講座(福井大学)

(専任教員)

教 授	松 崎 秀 夫
准 教 授	藤 澤 隆 史
准 教 授	水 野 賀 史
助 教	謝 敏かく
助 教	濱 谷 沙 世

助 教	國 石 洋
助 教	寿 秋 露
助 教	倉 田 佐 和
(兼任教員他)	
医 学 部 教 授	小 坂 浩 隆
医 学 部 教 授	梅 田 雄 嗣
医 学 部 教 授	上 原 佳 子
高エネルギー医学研究センター 教 授	清 野 泰
高エネルギー医学研究センター 教 授	伏 見 育 崇
高等教育推進センター 特命教授	安 倍 博
子どものこころの発達研究センター 特命教授	友 田 明 美
教育学部 教 授	岸 俊 行
教育学部 教 授	廣 澤 愛 子
教育学部 准 教 授	藤 岡 徹
教育学部 准 教 授	大 西 将 史
子どものこころの発達研究センター 准 教 授	森 本 武 志
高エネルギー医学研究センター 准 教 授	渡 邊 裕 之
子どものこころの発達研究センター 客員教授・福井県立大学教授	清 水 聡
子どものこころの発達研究センター 客員教授	重 松 陽 介

附属子どものこころの分子統御機構研究センター(大阪大学)

教 授	橘 雅 弥
特任教授(常勤)	谷 池 雅 子
助 教	三 好 耕
助 教	吉 崎 亜里香
助 教	栗 生 智 香

助 教	補 永 栄 子
特任助教(常勤)	村 田 絵 美
特任助教(常勤)	石 井 篤 子
特任助教	菱 谷 好 洋

先端治療・栄養学寄附講座(大阪大学)

特任教授	森 則 夫
特任教授	松 浦 成 昭
寄附講座助教	青 木 京 子

行動神経学・神経精神医学寄附講座(大阪大学)

特任教授	森 悦 朗
寄附講座教授	西 尾 慶 之
寄附講座准教授	鈴 木 麻 希
特任講師	釜 江 和 恵

神経発達・変性疾患共同研究講座(大阪大学)

特任教授(常勤)	長 野 清 一
招へい教授	村 山 繁 雄

学 生 便 覧

2026 年 3 月

大阪大学大学院

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学

連合小児発達学研究科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 2 号
大阪大学医学系研究科総務課連合研究科担当
TEL : 06-6879-3026 FAX : 06-6879-3347
E-mail : ugscd@office.med.osaka-u.ac.jp